

令和5年度

事業報告書

自 令和5年 4月 1日

至 令和6年 3月31日

目 次

〔Ⅰ〕概 要.....	1
〔Ⅱ〕組 織	
1. 機 構.....	4
2. 理事・監事・評議員・最高顧問.....	5
3. 会議記録.....	6
4. 委員会.....	8
1) 委員会の所管事項.....	8
2) 委員会委員.....	8
3) 委員会・部会 会議実績.....	10
5. 自動車教育推進協議会.....	12
〔Ⅲ〕事業活動	
1. 自動車技術教育支援事業.....	13
1) 機材提供活動.....	13
2) 教員支援活動.....	16
3) 協賛支援活動.....	17
4) 交流促進活動.....	17
2. 調査研究事業.....	20
1) 調査活動.....	20
2) 教材作成活動.....	22
3. 研修事業.....	23
1) 財団研修活動.....	23
2) 講師派遣活動.....	23
4. 普及啓発事業.....	26
1) 普及啓発活動.....	26
2) 広域普及啓発活動.....	28

〔Ⅳ〕 支援活動

1. 自動車技術教育関連イベントへの支援..... 31

〔Ⅴ〕 組織運営

1. 理事・監事・評議員の異動..... 32

2. 委員会・部会の効率的な運営..... 32

3. 財務・経理の状況..... 32

〔Ⅵ〕 庶務事項

1. 事務局体制..... 33

2. 賛助会費・寄附金の状況..... 33

※ 添付資料

【資料1】 令和5年度講師派遣実績..... 34

【資料2】 令和5年度教材贈呈式・教育懇談会開催状況..... 42

令和5年度事業報告附属明細書..... 49

〔I〕令和5年度 事業報告 概要

財団は、社会と自動車のより良い関係を形成するため、高等学校における自動車及び交通に関する教育への支援を行い、我が国の交通社会及び交通文化の健全な発展に寄与すべく、事業活動に取り組んでいる。令和5年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響がほぼ薄れ、コロナ禍前に近い活動を推進することができた。

自動車技術教育（自動車技術に関する教育）については、高等学校における技術教育の維持・向上とさらなる普及を支えるために取り組んだ。自動車技術教育用教材の継続提供に対する高等学校からの強い要望に応えるため、広域公募を継続すると共に、教育懇談会を開催し教育現場の意見集約を実施した。

交通社会教育（自動車及び交通と社会とのかかわりに関する社会教育）では、「モビリティ」「交通技術」「環境技術」「交通安全」の4テーマを中心に取り組んだ。これらに関する国内外の先進事例の調査を実施し、その結果を動画学習サイトで情報発信した。また、先生方の関心が高い環境や安全に関する先進技術や交通安全等については、先生方を対象とした財団主催研修会や、関係団体からの専門講師の派遣を行うなどして、高等学校における自動車や交通に関する教育を支援した。

1. 自動車技術教育支援事業

技術教育支援事業は、北海道・関東・北陸・中国地方の14都道県（※）293校を対象に自動車技術教育用教材提供の公募を行い、応募のあった全110校に教材の提供を行った。都道県別では、11都道県が前回（令和2年度）応募校数を上回り、その内4都道県は過去最高、3県で過去最高タイとなった。審査委員会にて厳正な審査・選考を行い、これで平成3年からの提供校数は累計で2,404校となった。

また担当教諭の技術知識や指導力向上支援の一環として、「分解組立用エンジン（汎用126cc）」提供校（40校）への訪問・電話指導、「分解組立用電子制御エンジン」提供校（5校）への解説DVDの提供を行った。

技術系講師派遣は、各教育団体や自販連と連携し過去最高の38件を実施した。

贈呈式・教育懇談会は、教材提供地域全14都道県にて実施した。出席人数を絞り込んだ開催とし、参加者を絞ることにより、限られた時間の中で有意義な意見交換・質疑応答の場となった。また贈呈式を5県では販売店にて、1県では自動車大学校にて開催。その際に工場・店舗の見学の機会も設け、教育懇談会にて意見交換を行った。参加した先生からは「工場見学をして認識が変わった。工場内はクーラーが完備、従業員控室も綺麗、女性でも働きやすい職場」等、多くの気付きがあったとのことで、有意義な見学会となった。贈呈式・教育懇談会については、高等学校の先生方に対する自動車整備の理解促進や有用な情報提供の機会とすべく、最適な開催場所についても現地の推進協議会と連携を図りながら検討していく。

※北海道、栃木県、埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県、富山県、石川県、福井県、鳥取県、岡山県、島根県、広島県、山口県

2. 調査研究事業

調査研究事業では、国内調査を2回実施した。太陽光活用のためのV2G (Vehicle to Grid) システム、電気自動車のワイヤレス充電の取り組みについて調査した。海外調査は、フランスでの交通分野での脱炭素化をテーマに、クルマの“相乗り”、自転車の活用、クルマの電動化に関する各促進策に焦点を当てた。これらの調査結果を動画化の上、動画学習サイト『早わかり！クルマ塾』に掲載し、広く高等学校への展開を行なった。

また、高校生のクルマに関する意識調査を実施した。同調査は高校生の今の関心事項や価値観、クルマに対する意識を把握すべく、平成25年(2013年)以降2年に一度行っている。当調査結果は、財団の各部会・委員会にて報告した。

3. 研修事業

研修事業では、財団研修活動として「教員研修会 (JAEF 研修会)」を4回計画し、コロナ禍の影響を受けつつも、このうち3回開催することができた。毎年高評価の研修会を企画しており、今回も参加者90名から高い評価を得た。

講師派遣活動では、自動車技術、環境・交通技術、交通安全をテーマに全国約6,000の高等学校へ公募活動を行い、外部の専門講師を派遣した。令和5年度も年間を通じてコロナ禍の影響が続いたが、オンライン方式の研修会が前年度とほぼ同水準で併用、活用され、キャンセルを大幅に抑制できたことで、開催件数は339件と前年度を上回る実績となった。

令和3年度より実施している財団独自の出前授業であるPIUS (分解組立式小型電気自動車) 特別講習は、計画通り昨年同様10回開催した。電気自動車の分解・組立から試乗までをパッケージとした講習に対し多くの受講者から好評を得た。

4. 普及啓発事業

普及啓発事業では、自動車教育支援の更なる強化、クルマへの関心・理解向上を図るべく、動画学習サイト『早わかり！クルマ塾』にて、情報通信技術の活用を通じた交通社会での利便性向上、道交法改正で新設された「特定小型原動機付自転車」にあたる電動キックボード、社会的課題解決に貢献するAIを搭載したモビリティなどをテーマとした計19本のコンテンツを掲載した。同サイトコンテンツの視聴促進を図るべく、一般社団法人「学びのイノベーション・プラットフォーム」が設ける各種教材にアクセスできるポータルサイトにて、計81本のコンテンツを掲載した。

この他、当財団および活動内容に対する認知度向上・各種支援の活用促進を図るべく、メルマガ登録者数の増加、先生方に近接した機会(全国規模の研究会や教育団体機関誌)での告知・情報提供などを実施した。

広域普及啓発活動としては、財団活動に関する各種情報のアクセシビリティ向上を図るため、12月にホームページを全面刷新した。各担当の先生が必要とする情報を得やすいよう、自動車技術教育、生活指導(交通安全)、地歴・公民/探究の3つのポータルを設けるなど改善を図った。

また、メールマガジン、フェイスブック、X（旧ツイッター）での継続的な情報提供により、広く世間に対して自動車教育並びに財団活動に関する情報を発信した。特に、自動車技術講師派遣については、実施した高等学校からは評価が高いものの利用経験のある高等学校が少ないことから、各実施校での講習の様子や反響をフェイスブック、Xに投稿した。ホームページ、ニュースリリース（『JAEF NEWS』）、定期事業報告紙（『JAEF REPORT』）等のメディア・ツールにおいても事業展開に合わせ適宜更新を行い、タイムリーな情報発信を実施した。

5. 組織運営について

令和5年度の財団事業は、第28回理事会（令和5年3月15日開催）にて承認された令和5年度事業計画及び令和5年度収支予算に基づき、展開された。

具体的な事業展開に際しては、各委員会・部会での検討を経て、効率的な展開を心がけた。これら会議の開催状況は、企画委員会3回、審査委員会1回、事業委員会2回、技術教育部会4回、調査普及部会2回、研修部会2回となっている。

収支に関しては、収入は賛助会費の一部減額が令和3年度から継続したままとなっているが、基本財産運用益の増加で前年度比408万円増*の8,182万円となった。支出は、自動車技術教育事業強化に向けた担当者の直接雇用、過去最多を記録した教材提供申し込み校数など増加した費用もあったが、事業運営の効率化などで費用を節減し、同193万円減の8,021万円となった。最終的な収支全体は161万円の黒字となった。

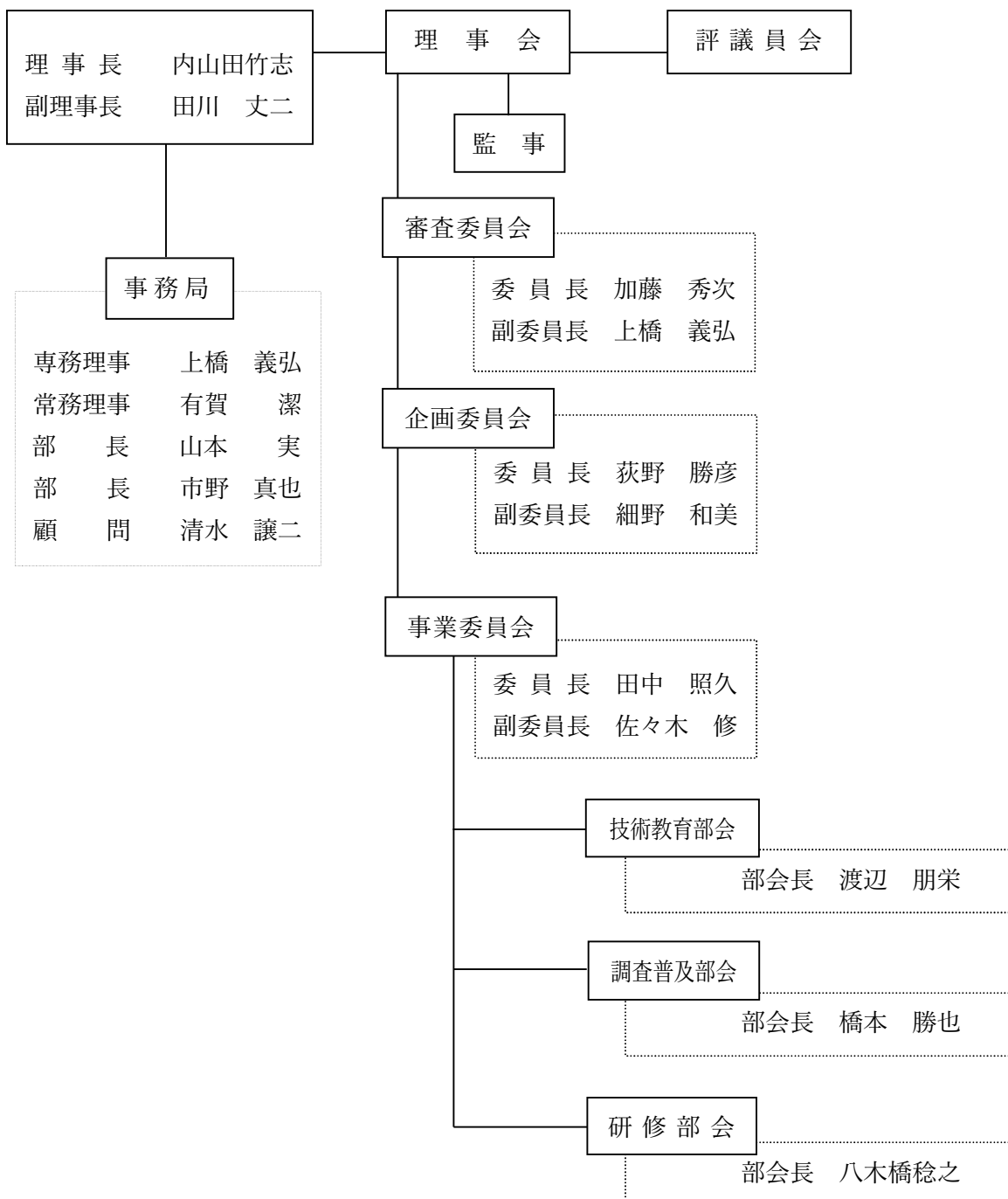
*令和4年度収入には経常外収益186万円も含む

〔Ⅱ〕組織

1. 機構

令和6年3月31日現在

敬称略



2. 理事・監事・評議員・最高顧問

[令和6年3月31日現在]

(敬称略)

理事長	内山田 竹 志	[トヨタ自動車(株)]	代表取締役会長]
副理事長	田川 丈二	[日産自動車(株)]	専務執行役員 <small>トヨタ自動車(株)</small>]
理事	永塚 誠一	[(-社)日本自動車工業会]	副会長・専務理事]
理事	小糸 正樹	[(-社)日本自動車販売協会連合会]	副会長・専務理事]
理事	木場 宣行	[(-社)日本自動車整備振興会連合会]	専務理事]
理事	島 雅之	[(-社)日本自動車連盟]	専務理事]
理事	板崎 龍介	[(-社)全国軽自動車協会連合会]	専務理事]
理事	伊豆原 孝	[(-社)日本損害保険協会]	常務理事]
理事	棟方 克夫	[(-公社)全国工業高等学校長協会]	顧問]
専務理事	上橋 義弘	[(-公財)日本自動車教育振興財団]	事務局常勤]
常務理事	有賀 潔	[(-公財)日本自動車教育振興財団]	事務局常勤]
(以上11名)			
監事	高橋 信行	[(-社)日本自動車工業会]	理事・事務局長]
監事	山崎 幸雄	[山崎幸雄税理士事務所]	代表]
(以上2名)			
評議員	宮本 久也	[全国高等学校長協会]	事務局 長]
評議員	榎野 治和	[全国総合学科高等学校長協会]	理 事 長]
評議員	古藤 一弘	[全国自動車教育研究会]	会 長]
評議員	大山 敏	[全国公民科・社会科教育研究会]	会 長]
評議員	柳田 昌宏	[(-社)日本自動車機械工具協会]	会 長]
評議員	武藤 孝弘	[(-社)日本中古自動車販売協会連合会]	専務理事]
評議員	一色 良太	[(-財)日本自動車研究所]	代表理事・専務理事]
評議員	山岡 正博	[(-社)日本自動車会議所]	専務理事]
評議員	波留 静哉	[(-財)日本自動車査定協会]	専務理事]
評議員	鈴木 欣也	[(-社)自動車公正取引協議会]	専務理事]
評議員	入野 泰一	[日本自動車輸入組合]	副理事長兼専務理事]
評議員	石橋 正人	[(-公財)自動車製造物責任相談センター]	常務理事・事務局長]
評議員	板倉 範顕	[(-社)日本自動車車体工業会]	専務理事・事務局長]
評議員	西脇 尚澄	[(-財)自動車検査登録情報協会]	専務理事]
評議員	河合 信之	[(-公財)国際交通安全学会]	専務理事]
評議員	福田 安展	[東京海上日動火災保険(株)]	副社長執行役員]
評議員	齋藤 滋夫	[損害保険ジャパン(株)]	副社長執行役員]
評議員	奥田 尚也	[三井住友海上火災保険(株)]	専務執行役員]
評議員	荒川 裕司	[あいおいニッセイ同和損害保険(株)]	執行役員]
評議員	高倉 記行	[本田技研工業(株)]	執行 職]
評議員	菖蒲田 清孝	[マツダ(株)]	代表取締役会長]
(以上21名)			
最高顧問	小 枝 至		

3. 会議記録

1) 第29回 理事会

- (1) 日 時 令和5年5月16日(火) 13時30分～14時30分
- (2) 場 所 芝パークホテル 2FローズII
- (3) 議 案 ①令和4年度事業報告及び決算について
②第12回定時評議員会開催について
③理事及び監事の選任(案)について
④評議員の一部選任(案)について
- (4) 報 告 ①代表理事、業務執行理事の職務執行の状況報告
「令和5年度事業進捗状況について」

2) 第12回 評議員会

- (1) 日 時 令和5年6月5日(月) 16時30分～17時15分
- (2) 場 所 日本自動車会館 くるまプラザ 第4～5会議室
- (3) 議 案 ①議長選出
②議事録署名人選出
③令和4年度事業報告および決算について
④理事及び監事の選任について
⑤評議員の一部選任について

3) 第30回 理事会

- (1) 日 時 令和5年6月5日(月) 17時20分～17時30分
- (2) 場 所 日本自動車会館 くるまプラザ 第3会議室
- (3) 議 案 ①代表理事・業務執行理事等の選定について

4) 決議の省略による書面での理事会

- (1) 議 案 ①理事辞任につき後任候補者選任の件
②臨時評議員会の件
- (2) 提案日 令和5年11月21日
- (3) 決議のあったものとみなされる日 令和5年12月8日

5) 決議の省略による書面での評議員会

- (1) 議 案 ①理事辞任につき後任者選任の件
- (2) 提案日 令和5年12月12日
- (3) 決議のあったものとみなされる日 令和6年1月12日

6) 第31回 理事会

- (1) 日 時 令和6年3月18日(月) 16時00分～17時00分
- (2) 場 所 芝パークホテル 2F アイビー
- (3) 報 告 ①代表理事・業務執行理事の職務執行の状況報告
「令和5年度事業進捗状況について」並びに
「令和5年度資産運用状況及び令和6年度資産運用計画について」
- (4) 議 案 ①令和6年度事業計画及び収支予算について
②事務局職員の異動について
③今後の理事会・評議員会開催日程について

4. 委員会

1) 委員会の所管事項

(1) 企画委員会

理事会に提案する事項並びに理事会より委託を受けた事項。その他、財団事業運営の基本に関わる事項

(2) 審査委員会

定款第4条(1)に定める機材提供を中心とした自動車技術教育の支援事業のうち、実習用機材・機械・工具等の提供に関し、具体的な対象校・対象内容ならびに自動車技術教育の振興に資する全国規模の活動に対する助成について審査・選考する事項

(3) 事業委員会

定款第4条に定める事業の企画・立案・推進および調整に関する事項
事業委員会の任務を遂行するために下記の部会を設ける

①技術教育部会

定款第4条(1)に定める機材提供を中心とした自動車技術教育の支援事業に関する事項

②研修部会

定款第4条(2)に定める高等学校及び教諭を対象とした研修会の開催と講師派遣事業に関する事項

③調査普及部会

定款第4条(3)に定める国内外の交通実態に関する調査研究と情報提供事業、並びに同条(4)に定める自動車教育の普及啓発事業に関する事項

2) 委員会委員

令和6年3月31日現在

(五十音順 敬称略)

(1) 企画委員会 (9名)

委員長	荻野 勝彦	[トヨタ自動車(株)]	渉外部第1 渉外室担当部長]
副委員長	細野 和美	[日産自動車(株)]	渉外部 担当部長]
委員	井上 良太	[三井住友海上火災保険(株)]	自動車営業推進部長]
委員	田平 秀幸	[損害保険ジャパン日本興亜(株)]	自動車営業推進部長]
委員	土居崎寿滋	[あいおいニッセイ同和損害保険(株)]	理事自動車保険部長]
委員	栃木 理江	[三菱自動車工業(株)]	総務渉外部担当マネージャー]
委員	春木 健	[マツダ(株)]	東京総務部長]
委員	深山 寛泰	[本田技研工業(株)]	渉外部 担当課長]
委員	山本 祐士	[東京海上日動火災保険(株)]	営業推進部部長モビリティ室長]

(2) 審査委員会 (7名)

委員長	加藤 秀次	[日本工業大学]	非常勤講師]
副委員長	上橋 義弘	[(財)日本自動車教育振興財団]	専務理事]
委員	石井 末勝	[東京都職業能力開発協会]	ものづくりアドバイザー]
委員	荻野 勝彦	[トヨタ自動車(株)]	渉外部第1 渉外室担当部長]
委員	佐々木 哲	[STG 国際学院]	講師]
委員	田中 照久	[(-社)日本自動車販売協会連合会]	常務理事]
委員	渡邊 隆	[(公)全国工業高等学校長協会]	事務局長]

(3) 事業委員会 (7名)

委員長	田中 照久	[(-社)日本自動車販売協会連合会]	常務理事]
副委員長	佐々木 修	[(-社)日本損害保険協会]	業務企画部長]
委員	海老澤 勲	[(-社)全国軽自動車協会連合会]	管理部総務課長]
委員	柴田 年輝	[(-社)日本自動車連盟]	交通環境部部長]
委員	高橋 徹	[(-社)日本自動車整備振興会連合会]	教育・技術部長]
委員	古川 博一	[(-社)日本自動車工業会]	総合政策領域1部担当部長]
委員	渡邊 隆	[(公)全国工業高等学校長協会]	事務局長]

①技術教育部会（8名）

部会長	渡辺 朋栄	〔三菱自動車工業(株) サービス技術サポート部マネージャー〕
副部長	阿部 徹	〔日産自動車(株) TCSX 国内サービス部 サービス技術渉外リーダー〕
委員	青木 展洋	〔(社)日本自動車機械工具協会 企画課 (兼) 総務課課長代理〕
委員	片岡 保男	〔マツダ(株) 国内営業本部 店舗オペレーション支援部〕
委員	木原 康秀	〔トヨタ自動車(株) サービス部統括室東京サービス渉外グループ〕
委員	木村 壮一	〔東京都立墨田工業高等学校 自動車科 主任教諭〕
委員	笹平 篤生	〔東京都立総合工科高等学校 機械・自動車 主任教諭〕
委員	吉原 大輔	〔本田技研工業(株) 日本本部お客様部サービス研修課主任〕

②調査普及部会（8名）

部会長	橋本 勝也	〔(社)日本自動車会議所 理事〕
副部長	田中 勲	〔トヨタ自動車(株) 渉外部 第1 渉外室 主幹〕
委員	浅川 貴広	〔東京都立蒲田高等学校 主幹教諭〕
委員	木村 栄一	〔東京海上日動火災保険(株) 営業推進部 部長〕
委員	坂本 英樹	〔三井住友海上火災保険(株) 損害サポート業務部 業務チーム 課長〕
委員	竹村 公一	〔SOMPO リスクマネジメント(株) 自動車コンサルティング部 特命部長〕
委員	田中 裕司	〔(社)日本損害保険協会 業務企画部啓発・教育グループ 課長〕
委員	仲 信之	〔成蹊高等学校 教諭〕

③研修部会（8名）

部会長	八木橋 稔之	〔(社)日本自動車販売協会連合会 登録事業部長 兼 法務部長〕
副部長	山野 陽一	〔(社)日本自動車連盟 本部交通環境部 事業推進課 課長〕
委員	安部 敬	〔東京都立小松川高等学校 公民科 主任教諭〕
委員	市橋 天	〔日産自動車(株) 日産横浜自動車大学校 校長〕
委員	笠原 剛	〔(社)日本自動車整備振興会連合会 調査企画部 部長〕
委員	木舟 作楽	〔(社)日本損害保険協会 業務企画部 啓発・教育グループ 次長〕
委員	田口 寿	〔(社)全国軽自動車協会連合会 事業部 二輪事業担当部長〕
委員	山本 一哉	〔本田技研工業(株) 経営企画統括部 環境企画部 技術渉外課チーフエンジニア〕

3) 委員会・部会 会議実績

(1) 企画委員会

①令和5年度第1回 令和5年4月25日(火) 15:00~16:00

- 議題
- ・第29回理事会提案資料について
 - ・第12回定時評議員会提案資料について
 - ・第30回理事会提案資料について

②令和5年度第2回 令和5年11月13日(月) 14:00~15:00

- 議題
- ・令和5年度財団事業進捗状況について

③令和5年度第3回 令和6年3月6日(水) 15:00~16:00

- 議題
- ・第31回理事会提案資料について

(2) 審査委員会

①第12回 令和5年8月1日(火) 10:30~11:30

※開催回は、公益財団法人移行後(平成24年4月~)の通算回数を表記。

- 議題
- ・令和5年度自動車教育用「教材」支援事業の審査選考
(支援対象校及び支援内容の決定)
 - ・助成先の決定

(3) 事業委員会

①令和5年度第1回 令和5年11月13日(月) 11:00~12:00

- 議題
- ・令和5年度財団事業進捗状況について

②令和5年度第2回 令和6年3月6日(水) 13:30~14:30

- 議題
- ・令和5年度事業進捗状況及び令和6年度事業計画(案)について

(4) 技術教育部会

①令和5年度第1回 令和5年5月23日(火) 16:00~17:00

- 議題
- ・令和4年度 自動車教育用教材活用状況について
 - ・令和5年度 自動車教育用教材メニュー(案)について
 - ・令和5年度 技術系講師派遣について
 - ・P I U S特別講習

②令和5年度第2回 令和5年7月25日(火) 16:00~17:00

- 議題
- ・令和5年度 教材提供活動 応募状況について
 - ・令和5年度 審査委員会 提案内容(案)について
 - ・令和5年度 技術系講師派遣応募・実施状況について
 - ・P I U S特別講習

③令和5年度 第3回 令和5年10月20日（金）16:00～17:00

議題 ・令和5年度 技術教育支援事業の上期進捗状況について

④令和5年度 第4回 令和6年2月27日（火）16:00～17:00

議題 ・財団 令和6年度方針（案）

・技術教育支援事業 令和5年度活動実績ならびに令和6年度事業計画（案）

（5）調査普及部会

①令和5年度第1回 令和5年10月24日（火）15:00～16:00

議題 ・令和5年度 調査研究事業の進捗状況について

・令和5年度 普及啓発事業の進捗状況について

②令和5年度第2回 令和6年2月22日（木）15:00～16:00

議題 ・令和6年度 財団事業方針について

・令和6年度 調査研究事業計画（案）について

・令和6年度 普及啓発事業計画（案）について

（6）研修部会

①令和5年度第1回 令和5年10月24日（火）13:30～14:30

議題 ・令和5年度 研修事業進捗状況について

・令和6年度 講師派遣・研修メニューについて

②令和5年度第2回 令和6年2月15日（木）13:30～14:30

議題 ・令和6年度 財団事業活動方針について

・令和5年度 研修事業進捗 令和6年度 研修事業計画案について

5. 自動車教育推進協議会

各都道府県の自動車販売店協会、自動車整備振興会、軽自動車協会、日本自動車連盟支部、日本損害保険協会支部（一部地域は中古自動車販売協会を含む）により、47都道府県において自動車教育推進協議会が設置され、各都道府県を対象とした自動車教育の推進に取り組んでいる。

同推進協議会は独立した自主的組織として独自の活動に取り組む一方、弊財団と連携し、各都道府県における教材贈呈式及び教育懇談会の開催、研修会への専門講師派遣、自動車教育イベントへの協賛支援等に取り組んでいる。

令和5年度 教材贈呈式及び教育懇談会は教材提供全14都道県で実施した。また自動車教育イベントは7件の依頼がありすべて支援した。

自動車教育推進協議会 設置状況一覧表

令和6年3月31日現在

名称	設置年月日 (平成)	会長	事務局		
			事務局長	所在地(連絡先)	
1 北海道自動車教育推進協議会	13. 1.10	沖田 俊 弥	福 田 昇	札幌市東区北28条東1-2-3	札幌自動車会館 (Tel. 011-753-5162)
2 青森県自動車教育推進協議会	8. 5.17	小野 大 介	石 川 善 孝	青森市奥野1-12-3	(Tel. 017-776-4211)
3 岩手県自動車教育推進協議会	14. 3.20	元 持 儀 之	宮 野 和 之	紫波郡矢巾町流通センター南2-8-3	(Tel. 019-637-2881)
4 宮城県自動車教育推進協議会	12.11. 1	渡 辺 広 章		仙台市宮城野区扇町3-3-10 宮城県交通会館	(Tel. 022-232-1571)
5 福島県自動車教育推進協議会	12.12. 1	小 室 和 人	安 藤 利 之	福島市吉倉字名倉1-1 (株)福島自販会館	(Tel. 024-546-1664)
6 秋田県自動車教育推進協議会	12.11. 1	辻 良 之	佐々木 俊 幸	秋田市八橋大畑2-12-55	(Tel. 018-862-1117)
7 山形県自動車教育推進協議会	12.11. 1	小 関 眞 一	鏡 道 宏	山形市大字漆山字行段1422	(Tel. 023-686-4521)
8 新潟県自動車教育推進協議会	13.11. 1	町 田 一 越	太 田 武 司	新潟市中央区東出来島11-16 新潟県自動車会館	(Tel. 025-285-6286)
9 長野県自動車教育推進協議会	13. 5.23	宇都宮 進 一	遠 藤 丈 夫	長野市大字高田字五分一沖679-10 長野県自動車会館	(Tel. 026-226-5416)
10 茨城県自動車教育推進協議会	14.10. 1	加 藤 敏 彦	市 川 昌 幸	水戸市住吉町292-5 茨城県自動車会館	(Tel. 029-247-4860)
11 栃木県自動車教育推進協議会	12.10.25	新 井 孝 則	船 田 弘 幸	宇都宮市今宮2-4-6 栃木県自動車会館	(Tel. 028-658-8811)
12 群馬県自動車教育推進協議会	14. 9. 1	星 崎 功 明	星 野 朗	前橋市野中町564 群馬自販会館	(Tel. 027-261-0830)
13 埼玉県自動車教育推進協議会	18.10. 1	茂 木 喜 明	塩 原 良 二	さいたま市西区大字中釘2255 (株)埼玉自販会館	(Tel. 048-623-1211)
14 千葉県自動車教育推進協議会	14. 4. 1	出 野 祥 平	齊 藤 充 弘	千葉県美浜区新港207	(Tel. 043-242-3321)
15 東京都自動車教育推進協議会	17.11.18	加 藤 和 夫	細 沼 聡	品川区西五反田4-32-9 東京日産西五反田ビル1号館3F	(Tel. 03-3491-8241)
16 神奈川県自動車教育推進協議会	14.10. 1	上 野 健 彦	中 澤 延 夫	横浜市都筑区池辺町3663 神奈川県自販会館	(Tel. 045-933-3626)
17 山梨県自動車教育推進協議会	15. 5.30	佐々木 宏 明	遠 藤 聡	笛吹市石和町唐柏1000-7 山梨県自動車販売店会館	(Tel. 055-263-3001)
18 富山県自動車教育推進協議会	12.12. 1	品 川 祐 一 郎	石 橋 浩 明	富山市新庄町字馬場18-8 富山県自販会館	(Tel. 076-425-8353)
19 石川県自動車教育推進協議会	12.12. 1	小 杉 雄 二	松 田 等	金沢市直江東2-122-1	(Tel. 076-238-5177)
20 福井県自動車教育推進協議会	12.12. 6	浮 田 啓 三	安 藤 和 博	福井市西谷1-1401 福井県自動車会館	(Tel. 0776-34-1622)
21 岐阜県自動車教育推進協議会	17.10.24	加 藤 元 康	藤 川 正 人	岐阜市日置江2648-2 岐阜県自動車会館	(Tel. 058-279-3761)
22 静岡県自動車教育推進協議会	16. 2.18	太 田 勝 之	古 屋 勝 治	静岡市駿河区国吉田2-4-35 静岡県自販会館	(Tel. 054-261-2177)
23 愛知県自動車教育推進協議会	15.10. 1	小 林 剛	伊 藤 敏 男	名古屋市中区川中川区昭和橋通4-8-2 愛知県自販会館	(Tel. 052-353-6161)
24 三重県自動車教育推進協議会	13. 3.10	岩 井 純 朗	駒 田 仁 史	津市雲出長常町字六割1190-1 三重県自動車会館	(Tel. 059-234-4567)
25 滋賀県自動車教育推進協議会	15. 2. 1	吉 川 敦 巳	井 戸 木 亘	守山市林浜町229-12 滋賀県自販会館	(Tel. 077-585-7292)
26 京都府自動車教育推進協議会	14. 9. 1	澤 井 孝 之	山 岡 宏	京都市伏見区竹田向代町51-5 京都自動車会館	(Tel. 075-671-6121)
27 大阪府自動車教育推進協議会	18.11. 1	久 保 尚 平		寝屋川市高宮栄町13-1	(Tel. 072-821-5522)
28 兵庫県自動車教育推進協議会	13. 7. 1	長 手 繁	木 村 淳 三	神戸市東灘区魚崎兵町33 兵庫県自動車会館 2F	(Tel. 078-441-1501)
29 奈良県自動車教育推進協議会	15. 3. 1	菊 池 攻	澤 島 弘 之	大和郡山形町高田町981-8 (株)奈良県自動車会館	(Tel. 0743-56-8458)
30 和歌山県自動車教育推進協議会	12.11. 1	弘 田 宗 博	大 蔵 留 治	和歌山市湊1106 和歌山県自動車会館	(Tel. 073-422-2027)
31 鳥取県自動車教育推進協議会	15. 4.14	米 原 良	俣 住 和 雄	鳥取市丸山町246-1	(Tel. 0857-24-6171)
32 島根県自動車教育推進協議会	14.11. 1	野々村 健 造	橋 本 実 千 寿	松江市馬場町43-4	(Tel. 0852-37-0044)
33 岡山県自動車教育推進協議会	14.11. 1	中 川 裕 二	谷 本 博 志	岡山市北区富吉5301-8 (株)岡山県自動車会館2F	(Tel. 086-259-3000)
34 広島県自動車教育推進協議会	11. 9. 1	藤 井 一 裕	村 上 弘 人	広島市西区観音新町4-13-13-3 広島県自動車会館	(Tel. 082-232-4418)
35 山口県自動車教育推進協議会	11. 3. 1	大 原 敏 之	藤 原 裕 宜	山口市葵1-5-58 山口県自動車会館	(Tel. 083-922-0909)
36 徳島県自動車教育推進協議会	8.12.16	北 島 義 貴	三 宅 徳 明	徳島市心仲町心仲産業団地1-6 徳島県自動車会館	(Tel. 088-641-2665)
37 香川県自動車教育推進協議会	17. 1. 1	星 合 貴 彦	平 尾 公 人	高松市香西東町278-1	(Tel. 087-881-4996)
38 愛媛県自動車教育推進協議会	14. 9. 1	松 田 卓 恵	曾我部 孝 美	松山市森松町1075-2	(Tel. 089-956-2747)
39 高知県自動車教育推進協議会	15. 7.29	佐 藤 誠 三	秋 山 教 二 郎	高知市大津乙1879-5 高知県自動車会館	(Tel. 088-866-6000)
40 福岡県自動車教育推進協議会	13.12. 1	金 野 誠	川 原 芳 昭	福岡市東区早千3-9-23 福岡交通会館	(Tel. 092-681-5963)
41 佐賀県自動車教育推進協議会	13. 8. 1	前 田 博 憲	本 村 修 紹	佐賀市若楠2-7-1 佐賀県自販会館	(Tel. 0952-31-1335)
42 長崎県自動車教育推進協議会	15. 2. 1	藤 岡 良 規	平 田 泰 範	長崎市中里町1576-7 長崎県自販会館	(Tel. 095-839-2611)
43 熊本県自動車教育推進協議会	12.11. 1	西 治 三 朗	松 本 伸 二	熊本市東区東町4-14-8 熊本県自動車会館	(Tel. 096-365-0638)
44 大分県自動車教育推進協議会	10. 6.15	橋 本 仁	岩 尾 豊 樹	大分市大津町3-4-13 大分交通会館1F	(Tel. 097-558-7791)
45 宮崎県自動車教育推進協議会	15. 7.11	佐土嶋 恒 夫	中 武 光 博	宮崎市大字本郷北字鶴尾2735-25 宮崎県自販会館	(Tel. 0985-51-8255)
46 鹿児島県自動車教育推進協議会	14. 3. 1	中 村 博 之	町 田 昇 二	鹿児島市谷山港2-4-9 鹿児島県自動車会館	(Tel. 099-262-0011)
47 沖縄県自動車教育推進協議会	8. 2.14	野 原 朝 昌	嶋 田 和 彦	浦添市港川512-8 沖縄県自動車会館	(Tel. 098-877-5225)

〔Ⅲ〕 事業活動

1. 自動車技術教育支援事業

1) 機材提供活動

令和5年度は、エンジン模型を単気筒から4気筒4サイクルエンジンの立体模型に変更、メニュー数は前年と同じ28メニューとした。

公募は14都道府県293校（全国工業高等学校長協会、全国総合学科高等学校長協会、全国自動車教育研究会の3団体に加盟している高校）を対象に実施、全都道府県から前回（令和2年度）を上回る110校の申請があった。

これらの申請について、8月1日に開催した審査委員会での厳正な審査・選考の結果、申請のあった110校全てに自動車技術教育用教材の提供を決定した。

なお、これらの教材の提供は令和5年度内に各高校へ発送済みであり、令和6年度において各校の教育現場にて活用予定である。

令和5年度 自動車教育用教材メニュー一覧

1. DVD教材（自動車の基礎・電気）	2. DVD&デジビデオ「自動車メカニズム」	3. CD教材（ハイブリッド自動車と充電装置）	4. CD教材（自動車の駆動とエンジン駆動）	5. CD教材（燃料供給・駆動・制御・走行機構の作動）	6. モーター基礎実験セット（自動車の電気・電子技術）
7. 動く機軸教材（メカニクス・メカニクス）	8. 4気筒4サイクルエンジン 模型	9. ハイブリッドシステム説明模型	10. 駆動用千字習習セット	11. 模型で学ぶセンサー技術（自動走行）	12. サスペンション模型
13. 四輪ホイールアライメント教材	14. 分解組立用エンジン（汎用126cc）	15. 分解組立用電子制御エンジン（660cc or 1300cc）	16. 実習用工具セット	17. 実習用工具トルクレンチ	18. 急速充電器
19. 低床型手動ジャッキ	20. 簡易型エンジンスタンド	21. トレーニングサーキット	22. 燃料電池実験キット	23. 燃料電池システム（エコラン大会用）	24. ビデオスコープ
25. 灯火回路実習装置	26. 実車（中古車）	27. エンジン実習装置	28. スキャンツール（外部故障診断装置）		

(1) 教材別申請状況

教材区分別構成比は視聴覚教材 27.3%、初級教材 57.3%、中級教材 4.5%、上級教材 10.9%であった。

第一希望における一番人気の教材は「分解組立用エンジン（汎用126cc）」（A～Cの3コースで40校が応募、全体の36.4%）であった。次いで「モーター基礎実験セット（自動車の電気・電子技術）」（前回の9倍にあたる9校、全体の8.2%）、次いで「実習用工具セット」（8校で全体の7.3%）であった。

「分解組立用エンジン（汎用126cc）」は解説動画（分解編・組立編の2本）をHPに掲載したことで分解組立実習が初めてといった先生にもイメージしやすいよう作業手順、使用工具、注意事項を盛り込み、組立・分解の作業前に本ビデオを視聴することで生徒の理解も深まり、効率的・効果的な学習を可能とした。これにより応募校が前回26校から40校に大幅に増えた。

(2) 応募及び審査結果

公募地域 (B地区)	北海道、栃木県、埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県、富山県、石川県、 福井県、鳥取県、岡山県、島根県、広島県、山口県 合計 14 都道県 (対象校は 293 校)	
応募校数	14 都道県、110 校	
支援校数	14 都道県、110 校	累計支援校数 (平成 5 年からの累計数) : 2,404 校

【教材別提供校数】

学習区分	NO.	教材名	提供校数
視聴覚教材	1	DVD 教材(自動車の基礎・電気)	2
視聴覚教材	2	DVD&デジビデオ(自動車のメカニズム)	0
視聴覚教材	3	CD 教材①(ハイブリッド自動車と充電装置)	0
視聴覚教材	4	CD 教材②(自動車の基礎とエンジンの作動)	5
視聴覚教材	5	CD 教材③(動力伝達・駆動・制御・走行装置の作動)	2
視聴覚教材	6	モーター基礎実験セット(自動車の電気・電子技術)	9
視聴覚教材	7	動く掛図(4 サイクル・2 サイクル)	2
視聴覚教材	8	4 気筒 4 サイクルエンジン模型	5
視聴覚教材	9	ハイブリッドシステム説明模型	2
視聴覚教材	10	駆動用ギヤ学習セット	1
視聴覚教材	11	模型で学ぶセンサー技術 (自動走行)	1
視聴覚教材	12-A	サスペンション模型 A	0
視聴覚教材	12-B	サスペンション模型 B	0
視聴覚教材	13	四輪ホイールアライメント教材	1
初級教材	14-A	分解組立用エンジン(汎用 126cc)A	25
初級教材	14-B	分解組立用エンジン(汎用 126cc)B	6
初級教材	14-C	分解組立用エンジン(汎用 126cc)C	9
初級教材	15-A	分解組立用電子制御エンジン 660cc A	2
初級教材	15-B	分解組立用電子制御エンジン 660cc B	0
初級教材	15-C	分解組立用電子制御エンジン 1,300cc C	2
初級教材	15-D	分解組立用電子制御エンジン 1,300cc D	1
初級教材	16	実習用工具セット	8
初級教材	17-A	実習用工具トルクレンチ A	1
初級教材	17-B	実習用工具トルクレンチ B	2
初級教材	17-C	実習用工具トルクレンチ C	1
初級教材	18	急速充電器	3
初級教材	19	低床型手動ジャッキ 足踏付 2t	2
初級教材	20	簡易型エンジンスタンド	1
中級教材	21	トレーニングサーキット	1
中級教材	22	燃料電池実験キット	1
中級教材	23	燃料電池システム(エコラン大会用)	0
中級教材	24	ビデオスコープ	2
中級教材	25	灯火回路実習装置	1
上級教材	26-A	実車(中古車・ヴィッツ) A	3
上級教材	26-B	実車(中古車・マーチ) B	0
上級教材	26-C	実車(中古車・フィット) C	0
上級教材	26-D	実車(中古車・デミオ) D	1
上級教材	26-E	実車(中古車・コルト) E	0
上級教材	26-F	実車(中古車・プリウス) F	1
上級教材	27	エンジン実習装置	2
上級教材	28	スキャンツール(外部故障診断装置)	5

(3) 自動車教育用教材活用報告書について

令和4年度教材提供を実施した高校を対象に、令和5年度における自動車教育用教材の活用状況を集約した。集約内容を技術教育部会で報告し、今後の活動の参考資料とした。

学習区分	No.	教材名	提供校数	活用生徒数
視聴覚教材	1	DVD教材(自動車の基礎・電気)	1	151
視聴覚教材	2	DVD&デジビデオ(自動車のメカニズム)	1	36
視聴覚教材	3	CD教材①(ハイブリッド自動車と充電装置)	0	0
視聴覚教材	4	CD教材②(自動車の基礎とエンジンの作動)	10	527
視聴覚教材	5	CD教材③(動力伝達・駆動・制御・走行装置の作動)	1	56
視聴覚教材	6	モーター基礎実験セット(自動車の電気・電子技術)	3	189
視聴覚教材	7	動く掛図(4サイクル・2サイクル)	1	75
視聴覚教材	8	4サイクルガソリンエンジン説明模型	3	260
視聴覚教材	9	ハイブリッドシステム説明模型	2	241
視聴覚教材	10	駆動用ギヤ学習セット	2	51
視聴覚教材	11	模型で学ぶセンサー技術(自動走行)	1	87
視聴覚教材	12	サスペンション模型	0	0
視聴覚教材	13	四輪ホイールアライメント教材	0	0
初級教材	14	分解組立用エンジン(汎用126cc)	27	1,032
初級教材	15	分解組立用電子制御エンジン	10	398
初級教材	16	実習用工具セット	3	94
初級教材	17	実習用工具トルクレンチ	4	242
初級教材	18	急速充電器	3	132
初級教材	19	低床型手動ジャッキ 足踏付 2t	2	117
初級教材	20	簡易型エンジンスタンド	0	0
中級教材	21	トレーニングサーキット	0	0
中級教材	22	燃料電池実験キット	3	122
中級教材	23	燃料電池システム(エコラン大会用)	0	0
中級教材	24	ビデオスコープ	1	14
中級教材	25	灯火回路実習装置	3	149
上級教材	26	実車(中古車)	4	244
上級教材	27	エンジン実習装置	5	393
上級教材	28	スキャンツール(外部故障診断装置)	1	24

(4) 提供教材「自動車の基礎・電気」のリニューアル

令和4年度から2年がかりでリニューアルを行った。高等学校でのICT化進展に合わせて、生徒の自習用としても活用できるよう、提供形式の変更を行った。

2) 教員支援活動

教材提供活動の一環として、エンジン教材を提供した高校を対象に、授業での有効活用と教育効果を高めてもらうことを目的に「フォロー指導」を実施した。

- (1) 汎用エンジンを提供した以下 40 校に対し教材納入時に同エンジンメーカー専門家が指導教諭へ、教材活用方法や安全管理等に関するアドバイスをを行った。(訪問説明：39 校)

No.	学校名	納品日	訪問日
1	北海道札幌工業高等学校 定時制	9月19日	10月26日
2	北海道函館工業高等学校 定時制	9月19日	10月27日
3	北海道美唄尚栄高等学校	9月19日	11月7日
4	北海道旭川工業高等学校	9月19日	11月7日
5	北海道北見工業高等学校	9月19日	10月25日
6	北海道清水高等学校	9月19日	11月6日
7	栃木県立宇都宮工業高等学校	9月25日	10月13日
8	栃木県立真岡工業高等学校	9月25日	10月13日
9	栃木県立那須清峰高等学校	9月22日	10月13日
10	埼玉県立春日部工業高等学校	9月25日	10月14日
11	千葉県立東総工業高等学校	9月25日	10月14日
12	東京都立科学技術高等学校	9月22日	10月4日
13	東京都立北豊島工科高等学校	9月25日	10月4日
14	東京都立蔵前工科高等学校	9月22日	10月3日
15	東京都立六郷工科高等学校	9月22日	9月28日
16	神奈川県立神奈川工業高等学校	9月22日	9月28日
17	神奈川県立神奈川総合産業高等学校	9月22日	9月29日
18	神奈川県立商工高等学校	9月25日	9月29日
19	神奈川県立藤沢工科高等学校	9月22日	10月5日
20	神奈川県立小田原城北工業高等学校	9月22日	10月5日
21	横須賀市立横須賀総合高等学校	9月25日	9月29日
22	川崎市立川崎総合科学高等学校	9月22日	9月28日
23	富山県立高岡工芸高等学校	9月25日	9月27日
24	富山県立砺波工業高等学校	9月22日	10月20日
25	金沢市立工業高等学校	9月22日	10月19日
26	福井県立奥越明成高等学校	9月22日	10月18日
27	福井県立武生商工高等学校	9月25日	10月19日
28	鳥取県立鳥取工業高等学校	9月26日	10月20日
29	鳥取県立倉吉総合産業高等学校	9月26日	10月20日
30	鳥取県立米子工業高等学校	9月26日	10月20日
31	岡山県立水島工業高等学校	9月26日	10月23日
32	岡山県立津山工業高等学校	9月26日	10月24日

33	玉野市立玉野商工高等学校	9月26日	—
34	倉敷市立工業高等学校	9月26日	10月12日
35	広島県立呉工業高等学校 定時制	9月26日	10月30日
36	広島県立総合技術高等学校	9月26日	10月30日
37	山口県立柳井商工高等学校	9月26日	10月30日
38	山口県立徳山商工高等学校	9月26日	10月30日
39	宇部鴻城高等学校	9月26日	10月31日
40	下関国際高等学校	9月26日	10月31日

(2) 分解組立用電子制御エンジンを提供した以下5校に対し、教材納入時期に合わせて整備マニュアルと専門指導員による指導内容を撮影した「分解・組立解説DVD」を提供した。

No.	学校名	提供教材
1	北海道立正学園 旭川実業高等学校	分解組立用電子制御エンジン 1,300cc 4台
2	北海道釧路工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン 1,300cc 4台
3	埼玉県立狭山工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン 660cc 4台
4	山口県立岩国工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン 1,300cc 2台
5	山口県立下松工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン 660cc 4台

3) 協賛支援(助成金)活動

公募期間中に1件の申請(第65回全国自動車教育大会)があり、審査委員会で承認された。

4) 交流促進活動

贈呈式・教育懇談会は教材提供地域全14都道府県にて実施した。

出席人数を絞り込んでの開催とし、参加者を絞ることにより、限られた時間の中で有意義な意見交換・質疑応答の場となった。

出席人数を絞り込んでの開催とし、参加者を絞ることにより、限られた時間の中で有意義な意見交換・質疑応答の場となった。また贈呈式を販売店5県、自動車大学校1県にて開催、工場・店舗の見学会を実施し、教育懇談会にて意見交換を行った。参加した先生からは「工場見学をして認識が変わった。工場内はクーラーが完備、従業員控室も綺麗、女性でも働きやすい職場」等、多くの気付きがあったとのことで、有意義な見学会となった。贈呈式・教育懇談会については、高等学校の先生方に対する自動車整備の理解促進や有用な情報提供の機会とすべく、最適な開催場所についても現地の推進協議会と連携を図りながら検討していく。

【販売店・自動車大学校での実施地区】

県名	贈呈式会場
千葉	千葉県自動車整備振興会(千葉県自動車大学校)
島根	ネッツトヨタ島根 本社
広島	広島日産自動車 本社
富山	トヨタモビリティ富山 Gスクエア五福店
石川	石川日産自動車 本社
鳥取	鳥取トヨタ自動車 米子東店

令和5年度
自動車教育用教材提供校一覧表

都道県名	学校名	機材名	数量
北海道	1 北海道札幌工業高等学校	4気筒4サイクル・エンジン 模型	1台
	2 北海道札幌工業高等学校 定時制	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン3台、他
	3 北海道函館工業高等学校	簡易式エンジンスタンド	4台
	4 北海道函館工業高等学校 定時制	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン4台
	5 北海道美唄尚栄高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン4台
	6 北海道滝川工業高等学校	模型で学ぶセンサー技術 (自動走行)	1セット
	7 北海道旭川工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン4台
	8 北海道富良野緑峰高等学校	急速充電器	1台
	9 旭川実業高等学校	分解組立用電子制御エンジン 1,300cc	エンジン4台、他
	10 北海道北見工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン3台、他
	11 北海道紋別高等学校	低床型手動ジャッキ 足踏付 2t	1セット
	12 北海道釧路工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン 1,300cc	エンジン4台、他
	13 北海道帯広工業高等学校	ビデオスコープ	1台
	14 北海道清水高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン4台
	15 北海道室蘭工業高等学校	スキャンツール (外部故障診断装置)	1台
	16 北海道苫小牧工業高等学校	実車 (中古車・ヴィッツ)	1台
栃木	1 栃木県立宇都宮工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン3台、他
	2 栃木県立今市工業高等学校	急速充電器	1台
	3 栃木県立栃木工業高等学校	動く掛図 (4サイクル・2サイクル)	1セット
	4 栃木県立足利工業高等学校	実習用工具セット	4セット
	5 栃木県立真岡工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン3台、他
	6 栃木県立那須清峰高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン4台
	7 栃木県立矢板高等学校	4気筒4サイクル・エンジン 模型	1台
埼玉	1 埼玉県立川越工業高等学校	モーター基礎実験セット (自動車の電気・電子技術)	1セット
	2 埼玉県立川口工業高等学校	スキャンツール (外部故障診断装置)	1台
	3 埼玉県立川口工業高等学校 定時制	実習用工具セット	4セット
	4 埼玉県立浦和工業高等学校	急速充電器	1台
	5 埼玉県立狭山工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン 660cc	エンジン4台、他
	6 埼玉県立久喜工業高等学校	CD教材 (動力伝達・駆動・制御・走行装置の作動)	1セット
	7 埼玉県立春日部工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン3台、他
	8 埼玉県立熊谷工業高等学校	実習用工具セット	4セット
	9 埼玉県立進修館高等学校	スキャンツール (外部故障診断装置)	1台
	10 埼玉県立いづみ高等学校	モーター基礎実験セット (自動車の電気・電子技術)	1セット
千葉	1 千葉県立千葉工業高等学校	CD教材 (自動車の基礎とエンジンの作動)	1セット
	2 千葉県立下総高等学校	スキャンツール (外部故障診断装置)	1台
	3 千葉県立東総工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン3台、他
東京	1 東京都立科学技術高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン4台
	2 東京都立北豊島工科高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン3台、他
	3 東京都立北豊島工科高等学校 定時制	DVD教材 (自動車の基礎・電気)	1セット
	4 東京都立蔵前工科高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン4台
	5 東京都立墨田工科高等学校	CD教材 (動力伝達・駆動・制御・走行装置の作動)	1セット
	6 東京都立墨田工科高等学校 定時制	エンジン実習装置	1台
	7 東京都立世田谷総合高等学校	4気筒4サイクル・エンジン 模型	1台
	8 東京都立総合工科高等学校	燃料電池実験キット	5セット
	9 東京都立総合工科高等学校 定時制	トレーニングサーキット	1台、他
	10 東京都立田無工科高等学校	実習用工具トルクレンチ (トレサビリティ付)	1セット
	11 東京都立多摩工科高等学校	CD教材 (自動車の基礎とエンジンの作動)	1セット
	12 東京都立中野工科高等学校	実習用工具トルクレンチ (トレサビリティ付)	1セット
	13 東京都立練馬工科高等学校	ビデオスコープ	1台
	14 東京都立町田工科高等学校	DVD教材 (自動車の基礎・電気)	1セット
	15 東京都立六郷工科高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン4台
	16 東京工業大学附属科学技術高等学校	四輪ホイールアライメント教材	1台
	17 大森学園高等学校	ハイブリッドシステム説明模型	1セット
	18 昭和鉄道高等学校	モーター基礎実験セット (自動車の電気・電子技術)	1セット

都道府県名	学校名	機材名	数 量
神奈川	1 神奈川県立神奈川工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン4台
	2 神奈川県立神奈川工業高等学校 定時制	実習用工具セット	4セット
	3 神奈川県立神奈川総合産業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン4台
	4 神奈川県立商工高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン3台、他
	5 神奈川県立川崎工科高等学校	実車 (中古車・ヴィッツ)	1台
	6 神奈川県立向の岡工業高等学校	実習用工具セット	4セット
	7 神奈川県立横須賀工業高等学校	モーター基礎実験セット (自動車の電気・電子技術)	1セット
	8 神奈川県立平塚工科高等学校	実車 (中古車・プリウス)	1台、他
	9 神奈川県立藤沢工科高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン4台
	10 神奈川県立小田原城北工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン4台
	11 神奈川県立小田原城北工業高等学校 定時制	モーター基礎実験セット (自動車の電気・電子技術)	1セット
	12 横須賀市立横須賀総合高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン3台、他
	13 川崎市立川崎総合科学高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン4台
富山	1 富山県立魚津工業高等学校	ハイブリッドシステム説明模型	1セット
	2 富山県立富山工業高等学校	4気筒4サイクル・エンジン 模型	1台
	3 富山県立高岡芸高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン3台、他
	4 富山県立砺波工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン4台
石川	1 石川県立工業高等学校	実習用工具トルクレンチ (トレサビリティ付)	1セット
	2 石川県立金沢北陵高等学校	モーター基礎実験セット (自動車の電気・電子技術)	1セット
	3 金沢市立工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン4台
福井	1 福井県立科学技術高等学校	CD教材 (自動車の基礎とエンジンの作動)	1セット
	2 福井県立坂井高等学校	実車 (中古車・ヴィッツ)	1台
	3 福井県立奥越明成高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン4台
	4 福井県立武生商工高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン3台、他
	5 福井県立敦賀工業高等学校	実習用工具トルクレンチ (トレサビリティ付)	1セット
	6 福井県立若狭東高等学校	低床型手動ジャッキ 足踏付 2t	1セット
鳥取	1 鳥取県立鳥取工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン4台
	2 鳥取県立倉吉総合産業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン4台
	3 鳥取県立米子工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン4台
島根	1 島根県立松江工業高等学校	CD教材 (自動車の基礎とエンジンの作動)	1セット
	2 島根県立出雲工業高等学校	CD教材 (自動車の基礎とエンジンの作動)	1セット
	3 島根県立江津工業高等学校	実習用工具セット	4セット
岡山	1 岡山県立岡山工業高等学校	モーター基礎実験セット (自動車の電気・電子技術)	1セット
	2 岡山県立東岡山工業高等学校	モーター基礎実験セット (自動車の電気・電子技術)	1セット
	3 岡山県立備前緑陽高等学校	実習用工具セット	4セット
	4 岡山県立水島工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン4台
	5 岡山県立笠岡工業高等学校	4気筒4サイクル・エンジン 模型	1台
	6 岡山県立津山工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン3台、他
	7 岡山県立勝間田高等学校	灯火回路実習装置	1セット
	8 玉野市立玉野商工高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン4台
	9 倉敷市立工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン4台
	10 岡山商科大学付属高等学校	実車 (中古車・デミオ)	1台
	11 おかやま山陽高等学校	エンジン実習装置	1台
広島	1 広島市立広島工業高等学校	スキャンツール (外部故障診断装置)	1台
	2 広島県立呉工業高等学校 定時制	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン3台、他
	3 広島県立総合技術高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン3台、他
山口	1 山口県立岩国工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン 1,300cc	エンジン2台、他
	2 山口県立柳井商工高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン4台
	3 山口県立田布施農工高等学校	駆動用ギヤ学習セット	1セット
	4 山口県立下松工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン 660cc	エンジン4台、他
	5 山口県立徳山商工高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン4台
	6 山口県立防府商工高等学校	動く掛図 (4サイクル・2サイクル)	1セット
	7 山口県立宇部工業高等学校	モーター基礎実験セット (自動車の電気・電子技術)	1セット
	8 山口県立美祢青嶺高等学校	実習用工具セット	4セット
	9 宇部鴻城高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン4台
	10 下関国際高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン3台、他

<都道府県別内訳>

北海道 16校 栃木 7校 埼玉 10校 千葉 3校 東京 18校 神奈川 13校 富山 4校
石川 3校 福井 6校 鳥取 3校 島根 3校 岡山 11校 広島 3校 山口 10校

合計: 14都道府県 110校

2. 調査研究事業

1) 調査活動

高校生・先生方のクルマに対する関心高揚や理解向上を図るべく、「交通」「環境」「交通安全」の3テーマを軸に、国内外の交通調査等を実施し、情報収集とノウハウの蓄積に努めた。

(1) 海外調査の実施

海外調査は、フランスにおけるモビリティの多様化、電動化をテーマとした。

2050年のカーボンニュートラルを目指す同国では、クルマの利用を減らすこと、そして電動化を進めることに重点を置いた施策に取り組んでいる。

<クルマの“相乗り”促進>

クルマ利用の75%がドライバー1人乗車であることから、通勤や通学時に複数人での乗車を増やすことで、交通量の低減を図っている。同乗者は自治体等の支援により低料金(0-2€程度)で利用可能。長期的に投資(1.5億€/年、'23~'27年)を行いながら、普及を促進している。

<自転車の活用>

自転車交通分担率が周辺諸国と比べて低く、移動5km以下のクルマ利用が40%にも達していることから、自転車利用拡大の機会ありとみて、2018年から「自転車計画活用」を策定し、自転車を利用し易い環境作りが進められている。自転車専用レーン・駐輪場等のインフラ整備、購入補助、教育に取り組んでいる。

<クルマの電動化>

電気自動車の販売比率を'23年の16%から'30年に66%に引き上げる計画のもと、多様な購入補助金制度(中古電気自動車、CO₂排出低減地域住民向け、内燃機関車から電気自動車へのカスタマイズ他)を導入している。

また充電設備についても、主要幹線道路のサービスエリアに設置を完了している。実際、今回の調査で西部のラ・ロシェルからボルドーまでの、およそ200キロをクルマで移動したが、この間の高速道路の25kmから50kmごとにあるサービスエリアでは充電器が設置されていた。

これらの事例より、国を挙げて社会的課題に対し迅速にアクションをとっていることが理解できた。

【海外調査の概要】

日程	令和5年11月5日(日)~12日(日)	
目的	脱炭素・エネルギー節減対策として取り組んでいるEV導入の実態、モビリティの多様化などを調査。都市部、郊外それぞれの実状を探り、日本における交通諸課題に関する知見を得る。	
調査先	フランス(パリ、ラ・ロシェル、ボルドーの各市)	
調査の様子	 	
	▲ “相乗り”利用者専用駐車場(写真左)と整備が進む自転車専用レーン(同右)	

(2) 国内調査の実施

国内の交通事情調査を2回実施した。

第1回は、非常用電源のみならず、再生可能エネルギー余剰分の貯蔵設備としての役割も担うV2G(Vehicle to Grid)システムをテーマに、関連情報の収集及び考察を

行った。

V2G は、再生可能エネルギーの導入によって不安定になりうる電力需給のバランスの維持に貢献するほか、発電コストの抑制、増える電力需要への対応が期待できる。しかし、「電力網に繋がる電動車両の数や充電状態を常に一定に保てず、必要な供給を計画的に受けられない」、「システムを作り上げるのにコストと時間がかかる」、



「クルマの利便性が損なわれる（システムに組み込まれるクルマのオーナーは、『クルマを使いたいときに使えない』と不満）」といった要因から、現時点では実用化の目的が立っていない。

現在、再生可能エネルギーの中心は太陽光発電であるが、パネルの生産・設置時の環境に与える負荷や素材調達における国際関係のリスクに鑑みれば、エネルギーの安全保障上過度な依存は望ましくない。超小型原子力発電、核融合発電といった他の脱炭素エネルギーの検討と研究開発が必要である。

第2回は、電気自動車の課題「長時間充電」の解決策として期待されるワイヤレス充電の実用化に向けた開発状況について、12月に千葉県柏市にて取材を行った。10月に開始された実証実験では、送電コイルを路中に埋設した場所で、受電コイルを装備した車両が10秒ほど停止すると1kmの走行可能な電力が確保できるなど、想定通りの結果が得られており、実用化に向け技術面での確認が順調に進んでいる。

しかし、ハード面の整備に多額の費用を必要とすることから、ビジネスモデルの構築が難しい。効率的に充電するという点においては、停留所や待機所なども含め定められた場所に送電コイルの設置が可能な路線バス、企業や学校が運営するシャトルバスなどでの活用の可能性が見込まれるが、その事業化に向け今後は政府・自治体、企業、そして研究機関の連携をさらに深めていけるかが重要となる。

【国内調査の概要】

	第1回目	第2回目
日程	—	12/18 (月)
目的	非常用電源のみならず、再生可能エネルギー余剰分の貯蔵設備としての役割も担うV2Gシステムの導入の現状と今後の課題を調査	EVの課題「長時間充電」の解決策として期待される、ワイヤレス充電の実用化に向けた開発の現状と今後の課題を調査
調査先	—	千葉県
調査の様子	 <p>▲クルマに係る太陽光エネルギー活用策を紹介</p>	 <p>▲送電コイルが埋設された実証実験場所 (千葉県)</p>

(3) 高校生のクルマに関する意識調査の実施

財団では、高校生の今の関心事項や価値観、クルマに対する意識を把握すべく、平成25年(2013年)に初めてWebでのアンケート調査を実施した。その後の動向を把握するため、2年に一度同調査を行っている。令和5年11年に6回目のアンケート調査を実施し、財団の各部会・委員会にて報告した。調査対象は、首都圏、京阪神圏、九州圏の高校生300名(各地域100名)である。

今回の結果では、クルマへの関心度は横這いで、普通免許の取得やクルマの所有に対する意向については漸減傾向にあることが分かった。ただし、クルマに同乗する機会は維持されている他、クルマを「大切なプライベート空間」とする意識を7割以上が持つ

ているという結果もあり、クルマファンを増やすにはその有用性や魅力に関する理解を促進する継続的な取り組みが重要であることを認識した。

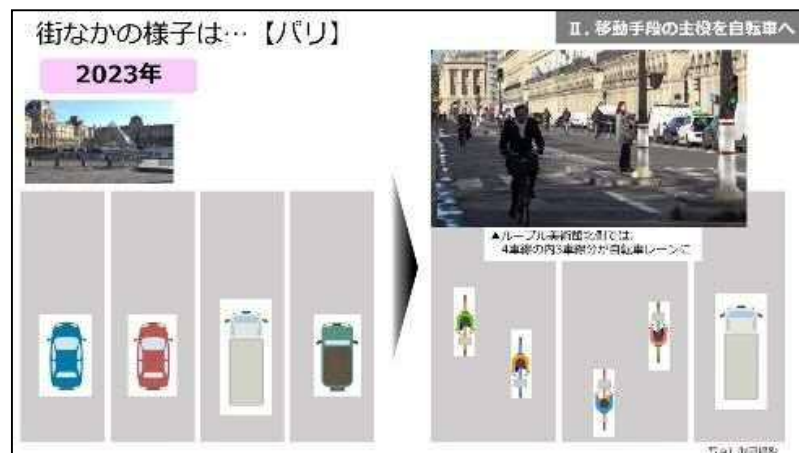
2) 教材作成活動

・調査報告動画の作成

国内調査や海外の最新動向に関する情報収集結果については、財団の調査普及部会や企画委員会・事業委員会などで報告するとともに、動画化した上で財団の動画学習サイト『早わかり！クルマ塾』に掲載した。



▲国内調査報告動画『再生可能エネルギーの有効活用はどこまで可能か?』より



▲海外調査報告動画『フランス現地調査報告 II. 移動手段の主役を自転車へ』より

3. 研修事業

1) 財団研修活動

文部科学省や各教育委員会の後援及び各高等学校教育関係団体からの協賛を得て、「効果的な交通安全教育手法」を研修テーマに、JAEF 研修会（高等学校の教員を対象に財団が主催する研修会）を開催した。

茨城、広島、東京の順に 3 会場にて開催した研修会には、全国より高等学校の教員等 90 名が参加し、いずれも参加者から高い評価をいただいた。（各回参加者アンケートで 5 段階評価のうち「大変良い」「良い」の上位合計が講演で 93%見学・実習で 98%と前年を上回った）

【令和 5 年度 J A E F 研修会開催実績】

開催日	会場	講演テーマ、講師及び見学施設	参加人数
7 月 26 日	(一財) 日本自動車 研究所 (茨城県 つくば市・城里 町)	【講演】 『『自動運転技術』研究開発の現状と実用化への課題について』 講師：一般財団法人 日本自動車研究所 自動走行研究部 研究主幹 内田 信行 氏 【見学、説明】 「城里テストセンターでは国際級の高速周回路をバスで走行 体験」	23 名
7 月 31 日	マツダ (株) (広島県府中町)	【講演・体験】 『『人間中心』の高度運転支援技術 Mazda Co-Pilot Concept について』 講師：マツダ株式会社 R&D戦略企画本部 開発戦略企画部 主査 栃岡 孝宏 氏 【見学】 マツダミュージアム・本社工場見学	29 名
8 月 9 日	日本自動車会館 (東京都港区)	【講演】 「高校生から乗れる電動キックボードの安全な普及について」 講師：株式会社 Luup 広報・渉外部長 池上 翔 氏 広報・渉外部 渉外担当 國井 さくら 氏 【実習・体験】 電動キックボード 乗車指導(構内)・交通ルール実体験(公道試乗)	38 名

2) 講師派遣活動

学校関係団体が主催する研修会及び高等学校が生徒を対象に開催する講習会等への講師派遣活動について、例年どおり全国公募を行った。講師派遣メニューは自動車技術教育と交通社会教育からなる 16 メニューを用意した。開催回数は 339 件（前年比+53 件）、参加者は 97,034 名（同+17,373 名）となった。

339 件の内訳は、区分別に「自動車技術」38 回、「環境・交通技術」3 回、「交通安全」298 回であった。

講師は研修テーマに合わせて関係団体・企業の専門家を派遣しているが、本年度は 339 回中 334 回について日本自動車連盟各支部、日本損害保険協会各支部、各地域の自動車整備振興会や自動車販売会社といった地元講師の皆様にご協力いただいた（詳細は【資料 1-2】を参照）。

【令和5年度講師派遣メニューと派遣件数】

区分	ジャンル	研修メニュー	派遣講師 (派遣団体・企業)	派遣件数	参加人数
自動車技術教育	自動車の最新技術	① トヨタ ハイブリッド車について	トヨタ系ディーラー	10	326
		② 日産 電気自動車について	日産系ディーラー	18	797
		③ ホンダ e:HEVについて	ホンダ系ディーラー	2	68
		④ マツダ 電動化技術によるクルマの楽しさと環境の両立	マツダ	6	265
		⑤ 三菱 EV・PHEVを用いた持続可能な社会に向けて	三菱自動車工業	1	20
	自動車の整備技術	⑥ ガソリンエンジンの分解・組立	自動車整備振興会	0	0
		⑦ トランスミッションの分解・組立	自動車整備振興会	0	0
		⑧ 電子制御エンジンの構造と点検・整備	自動車整備振興会	1	20
自動車技術教育 計				38	1,496
交通社会教育	環境技術	⑨ 地球温暖化防止と自動車技術	自動車関係団体他	0	0
	交通技術	⑩ 自動運転技術が拓く未来と人との協調	自動車関係団体他	1	129
		⑪ 自動運転と倫理法律問題	自動車関係団体他	2	53
	交通安全	⑫ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	228	75,542
		⑬ 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	26	6,455
		⑭ 交通事故を起こして問われる責任と 損害保険の役割	日本損害保険協会	16	4,767
⑮ 「自転車」を取り巻くリスクと損害保険の役割		日本損害保険協会	26	8,553	
⑯ 二輪車(バイク)の交通安全	日本二輪車 普及安全協会	2	39		
交通社会教育 計				301	95,538
全体 合計				339	97,034

3) P I U S (分解組立式小型電気自動車) 特別講習

令和3年より実施している、重点取組事項のひとつ「体験型授業の充実」の施策として、分解型小型電気自動車P I U S (ピウス) を用いた特別講習を開催した。本講習は財団職員が講師を担当し、応募があった全国の工業高校を対象に訪問。

本年度は6月から開始し、12月までの間に計画した10回の開催を完了した。

本講習は電気自動車の分解・組立から試乗の実習に加え、5Sや電気自動車についての座学をパッケージとしており、これまで多くの受講者から好評を得てきた。

【令和5年度P I U S 特別講習開催実績】

No.	地区	主催	開催日	受講者	人数
1	岐阜	県立 岐阜工業高校	6月24日	自動車研究部	10
2	新潟	県立 佐渡総合高等学校	7月13日	環境工学科系列3年生	19
3	宮崎	県立 小林秀峰高等学校	7月25日	機械科	9
4	鹿児島	県立 鹿屋工業高等学校	7月27日	機械科	19
5	愛知	名電高等学校	8月17日	専門学科	8
6	新潟	県立 新潟県央工業高等学校	8月22日	機械加工科3年生	5
7	愛知	名古屋工業高等学校	9月16日	機械科2年生	9
8	宮崎	都城東高等学校	10月12日 13日	モビリティ工学科2年生	43
9	青森	弘前東高等学校	11月7日	自動車科3年生	10
10	東京	都立 練馬工科高等学校	12月12日 13日	キャリア技術科3年生	20
受講者計					152

4. 普及啓発事業

1) 普及啓発活動

(1) 動画学習サイト『早わかり！クルマ塾』でのコンテンツ掲載、同サイトの告知活動

①新規コンテンツの公開

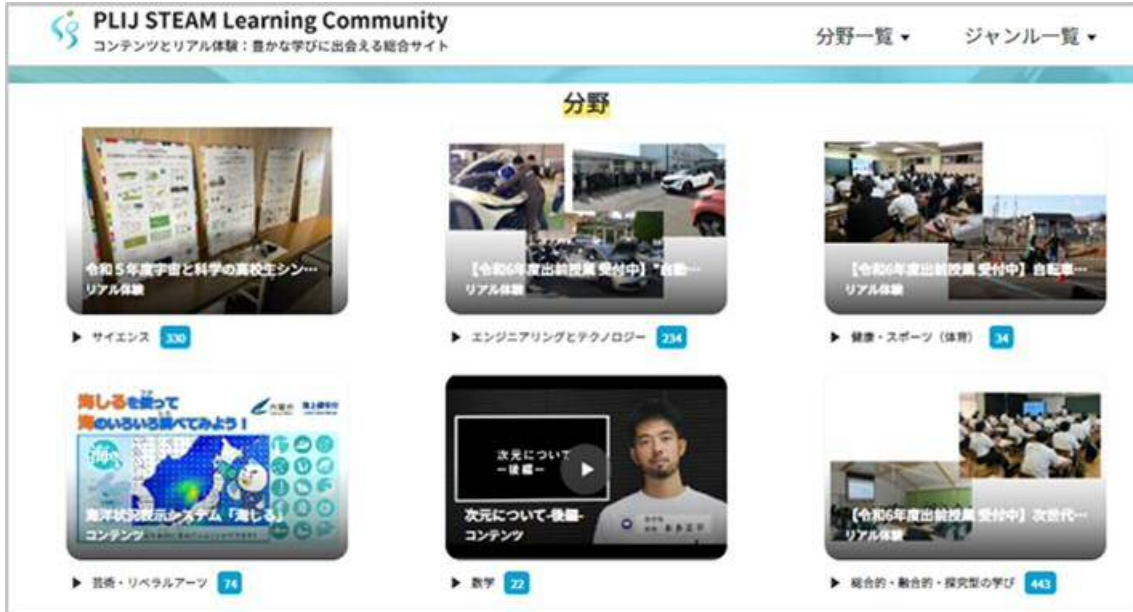
クルマに関する基礎知識や国内外の最新交通事情などをテーマとする動画を財団ウェブサイトにて公開。当年度は財団で実施した国内・海外調査結果の他、情報通信技術の活用を通じた交通社会での利便性向上、社会的課題解決に貢献するAIを搭載したモビリティ、電動キックボードなどのテーマで計19本のコンテンツを制作し、公開した。

【令和5年度『早わかり！クルマ塾』コンテンツ掲載実績】

		タイトル	公開日
まなび舎の	<1>	『社会と自動車の調和 [1] 情報通信技術の活用でもっと便利な交通社会を』	R6. 1. 31
	<2>	『どこまで実現する？自転車を利用しやすい環境づくり』	R5. 7. 21
「クルマ何でも情報館」	<3>	『16歳以上なら免許なしで乗れる電動キックボードとは？』	R5. 10. 2
	<4>	『再生可能エネルギーの有効活用はどこまで可能か?』	R5. 10. 30
	<5>	「軽自動車の現在/過去/未来 聴く編 (第1回)」	R5. 11. 24
	<6>	「軽自動車の現在/過去/未来 聴く編 (第2回)」	R5. 11. 24
	<7>	「軽自動車の現在/過去/未来 『スズキ歴史館』編」	R5. 11. 24
	<8>	「軽自動車の現在/過去/未来 乗る編 (第1回)」	R5. 11. 29
	<9>	「軽自動車の現在/過去/未来 乗る編 (第2回)」	R5. 11. 29
	<10>	『Honda CIが拓く 人と機械の協調運転 (乗る編 第1回)』	R6. 3. 6
	<11>	『Honda CIが拓く 人と機械の協調運転 (乗る編 第2回)』	R6. 3. 6
	<12>	『Honda CI 導入のきっかけ 交通事故ゼロ社会への具体策 (聴く編 第1回)』	R6. 3. 12
	<13>	『Honda CI とのふれあい 人を見習って安全を確保するHonda CI (聴く編 第2回)』	R6. 3. 12
	<14>	『Honda CI の未来 人と同じようにコミュニケーションが図れるのでしょうか? (聴く編 第3回)』	R6. 3. 12
	<15>	『フランス現地調査報告 I. 脱炭素社会を目指すフランスの概要』	R6. 3. 15
	<16>	『フランス現地調査報告 II. 移動手段の主役を自転車へ』	R6. 3. 15
	<17>	『フランス現地調査報告 III. “相乗り” で 交通量抑制へ』	R6. 3. 25
	<18>	『フランス現地調査報告 IV. クルマの電動化 新車の7割をEVへ』	R6. 3. 25
	<19>	『フランス現地調査報告 V. 環境・人に優しい交通インフラ 他』	R6. 3. 29

②一般社団法人「学びのイノベーション・プラットフォーム (PLIJ)」との連携

同法人が令和5年4月より運営を開始した教材・研修等の情報を紹介するポータルサイトにて、財団の動画を始めその他活動情報を掲載。同サイトから当財団HPへのリンクを可能とした。



▲ 「PLIJ STEAM Learning Community」トップページ

③財団支援活動・イベント各参加者向けPRリーフレットを制作、配布

「交通安全 講師派遣」を利用、或いは「教材贈呈式」・「JAEF 研修会」に出席した先生のニーズに適したリーフレットを個別に制作し配布した。

交通安全の講師派遣にお申込みいただき、ありがとうございます。
 当財団ウェブサイト「早わかり！クルマ塾」では交通安全に関する動画も制作・公開しています。
 授業や自習などにご活用ください。

タイトル	内容	URL
1 『自転車の交通安全』	自転車の事故がどのようにして起きるのか、自転車事故に遭わないためにはどのようなことに気を付けなければいけないのかを学ぶ動画です。 (令和2年6月公開、13分17秒)	http://www.jaef.or.jp/curumajuku/contents/01/01.html
2 『自転車事故に備える保険の加入義務化』	自転車に乗っている間に発生した損害「怪我への賠償」「自分のケガ」を補償する保険。身を守るための重要な役割を担っている。当保険の加入義務化の動きと保険の内容について紹介しています。 (令和2年4月公開、7分25秒)	http://www.jaef.or.jp/curumajuku/contents/02/02.html
3 『歩行者としての前向き自転車対応』	道路交通法改正により、クルマの「歩行者」としての扱いを受ける自転車も「歩行者」としての扱いを受けるようになります。その対象となる7つの行為を動画で解説します。 (令和2年7月公開、3分5秒)	http://www.jaef.or.jp/curumajuku/contents/03/03.html
4 『歩車分離式信号のある交差点の乗り方』	交差点で人とクルマによる事故を減らすために設置されている「歩車分離式信号」。自転車利用時にこの信号のある交差点を通行する場合には注意すべきことについて解説した動画です。 (令和2年10月公開、8分8秒)	http://www.jaef.or.jp/curumajuku/contents/04/04.html
5 『消費者としての高校生と交通社会(1)「自転車」と交通社会～権利と責任のあり方～』	自転車事故に伴う損害賠償を含む、実際の交通社会において想定されるケースをとり、個人の権利と責任について考える内容です。 (令和4年6月公開、14分33秒)	http://www.jaef.or.jp/curumajuku/contents/05/05.html
6 『自転車の交通安全取組の振り返り強化へ』	令和4年10月に警視庁が「車道の右側通行」など4つの進捗行動の取組を強化を開始。その背景、今後待たされるべき取組に注意していくべきかについて解説しています。 (令和2年2月公開、10分11秒)	http://www.jaef.or.jp/curumajuku/contents/06/06.html
7 『日本における交通安全と親しい軌跡』	1960年代に始まった日本のモータリゼーション以降、交通事故を減らすためにこれまでどのような取り組みが行われてきたのかを動画で振り返ります。 (令和2年11月公開、9分4秒)	http://www.jaef.or.jp/curumajuku/contents/07/07.html

当財団 動画サイト『早わかり！クルマ塾』のコンテンツをご活用ください

- 財団では高校の生徒・先生の皆さん向けに、クルマに関する基礎知識から国内外の最新交通事情に至るテーマ・題材の動画をウェブサイトでご公開しています。令和5年9月末までに、計68本のコンテンツを掲載しています。
- 「自転車工学」の授業、生徒の皆さんの自主学習にご活用ください。(動画尺:10-20分/本)

早わかり！クルマ塾

クルマのまじか

＜アクセスはこちらから＞

- ① URLより
<http://www.jaef.or.jp/6-kurumajuku/index.htm>
- ② 検索エンジン (Google等) で早わかり JAEF と入力すれば、上部に表示
- ③ QRコードより

「自動車産業の歴史と現状」コンテンツ表

オットーの4サイクルエンジン

自動車保有台数の推移 (単位:万台)

▲「自動車の誕生」 ▲「日本における自動車の誕生と大衆化」

▲ PRリーフレット (左:「交通安全 講師派遣」利用者向け、右:「教材贈呈式」参加者向け)

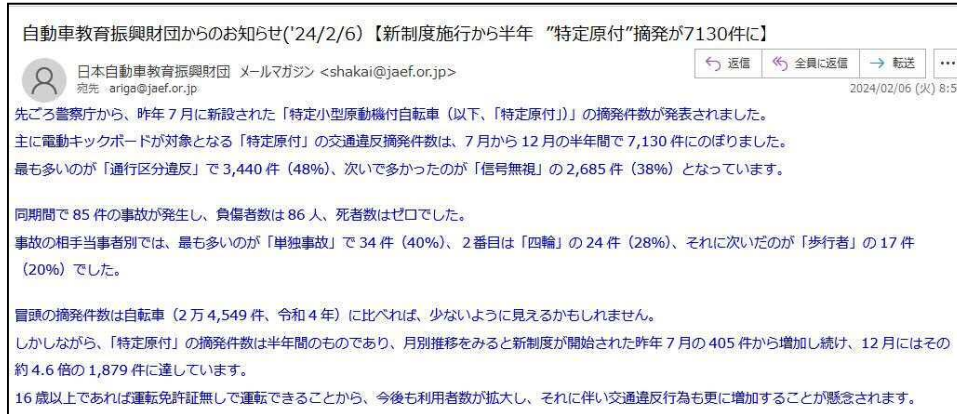
④ダイジェスト版制作、YouTube への投稿

各コンテンツの認知向上・視聴促進策を図るべく、先述の公開動画のダイジェスト版を制作、YouTube への投稿を実施。

(2) メールマガジンによる情報提供

先生等への情報提供活動として、メールマガジンを配信。当財団の活動状況、クルマや交通安全に関するトピックス等をテーマに、当年度は合計 51 回発信した。

また、当財団活動に対する認知・理解度を更に高めるべく、令和 4 年度に引き続きメールマガジン登録者数の拡大に取り組んだ。「講師派遣」「技術教材提供」などへの申込時に、メールマガジンへの登録承諾のデフォルト化により、3 月末までの累計登録者数が 970 と、この一年間で 24%増加した。



▲メールマガジン画面

(3) 先生方に近接した機会での告知・活用促進

従来の財団イベント（JAEF 研修会、教材贈呈式）での情報提供に加え、令和 5 年度全国公民科・社会科教育研究会 全国大会の会場ステージにて当財団支援の活用を訴求した。

2) 広域普及啓発活動

(1) ホームページの全面改訂による各種情報のアクセシビリティ向上

先生の担当毎にメニュー表示枠を設定するなど、トップページでの情報検索・閲覧のし易さを高めたデザインに変更（令和 5 年 12 月より）



▲新ホームページ

(2) SNSによる情報発信

自動車技術講師派遣を含め、当財団イベント等の情報を関連画像と共に随時投稿した。当年度の投稿回数は、フェイスブック 62 回、”X”（旧ツイッター） 65 回。



▲SNS 投稿画面（左：フェイスブック、右：”X”）

(3) 「ニュースリリース」の発行

報道機関向けのニュースリリース『JAEF NEWS』を発行した（年間 20 回）。

『JAEF NEWS』発行状況

番号	発行日	タイトルと内容
No. 789	R5. 6. 6	令和5年度定時評議員会を開催
No. 790	R5. 7. 5	「令和5年度 第1回 JAEF 研修会」を開催
No. 791	R5. 7. 10	「令和5年度 第2回 JAEF 研修会」を開催
No. 792	R5. 7. 19	「令和5年度 第3回 JAEF 研修会」を開催
No. 793	R5. 8. 2	令和5年度 自動車技術教育用教材の提供校を決定
No. 794	R5. 9. 11	栃木県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 795	R5. 10. 10	千葉県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 796	R5. 10. 10	神奈川県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 797	R5. 10. 18	島根県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 798	R5. 10. 26	福井県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 799	R5. 10. 26	広島県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 800	R5. 11. 7	富山県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 801	R5. 11. 9	石川県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 802	R5. 11. 10	鳥取県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 803	R5. 11. 13	山口県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 804	R5. 11. 17	埼玉県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 805	R5. 11. 22	岡山県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 806	R5. 11. 28	東京都にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 807	R5. 12. 19	北海道にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 808	R6. 3. 19	第31回理事会を開催

(4) 『JAEF REPORT』の発行

関係者向けの財団事業報告紙として『JAEF REPORT』（A4判・4頁・カラー）を定期的（4・7・10・1月の年4回）に発行した。直近の財団活動実績や今後の行事予定などを、財団関係者へ分かりやすく伝える情報媒体として定着している。

また、『JAEF REPORT』をホームページでも公開し、財団活動の幅広い理解促進を図った。

【『JAEF REPORT』発行状況】

番号	発行日	タイトル・内容
No.257	R5. 4. 5	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 第28回理事会を開催、令和5年度事業計画・予算を承認 ◆ 令和4年度講師派遣実績 ◆ 令和5年度「自動車技術」に関する講師派遣 募集開始 ◆ 副教材「クルマを通じて社会を考える<デジタル版>」完成・公開 ◆ 動画学習サイト「早わかり！クルマ塾」に15本のコンテンツ掲載
No.258	R5. 7. 5	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 理事会、評議員会を実施 ◆ 令和5年度自動車技術教育用教材提供へ103校から応募 ◆ 40都道府県の研修会（204件）に講師を派遣 ◆ 令和5年度JAEF研修会の参加者を募集 ◆ （一社）学びのイノベーション・プラットフォームHPで財団情報を発信開始
No.259	R5.10. 5	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 令和5年度自動車教育用教材の提供対象校・内容を決定 ◆ 分解組立式小型EV“PIUS”を用いた特別講習を実施 ◆ 電動車技術教育用教材 新規設定を検討 ◆ “JAPAN MOBILITY SHOW 2023”高校生来場促進活動 ◆ 令和5年度JAEF研修会を開催 ◆ 30都道府県の研修会（58件）に講師を派遣 ◆ 動画学習サイトに自転車活用推進計画に関する調査報告動画を掲載
No.260	R6. 1. 5	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 新年のご挨拶 ◆ 13都県で教材贈呈式、交流促進活動を実施 ◆ 財団ウェブサイトリニューアル ◆ 令和6年度講師派遣募集開始 ◆ 各部会・委員会にて令和5年度上期活動状況を報告 ◆ 分解組立式小型EV“PIUS”を用いた特別講習を実施 ◆ 動画学習サイト「早わかり！クルマ塾」に7本のコンテンツ掲載 ◆ 27都道府県（65件）の研修会に講師を派遣



【IV】支援活動

1. 自動車技術教育関連イベントへの支援

7件の依頼があり7件のすべてに支援を行った。

区分	令和5年度 イベント名称	開催日	開催地	主催者	協賛支援内容
全国	第29回全国ソーラー ラジコンカーコンテ スト in 白山	8月3日	石川	全国ソーラーラジコンカーコンテ スト実行委員会	表彰状 盾 賞品
	第23回高校生ものづ くりコンテスト全国 大会	11月11日	愛知	全国工業高等学校長協会	表彰状 盾
	ジャパンマイコンカ ーラリー2024 全国大 会	1月7日	大阪	全国工業高等学校長協会	協賛金
県別	令和5年度三重県工業 高校生フェア	8月17日	三重	三重県高等学校工業教育県協会	協賛金
	第31回静岡高校生エ コラン大会	10月21日	静岡	静岡県工業高等学校長会	協賛金
	第25回沖縄県高等学 校エコデンレース大 会	10月24日	沖縄	沖縄工業教育研究会	協賛金 表彰状
	2023 長野県高校生交 通安全CM コンテスト	11月30日	長野	長野県交通事故ゼロチャレンジ実 行委員会	協賛金

〔V〕組織運営

1. 監事・評議員の異動

所属団体での異動による一部評議員の退任及び理事・監事の任期満了に伴い、第12回定時評議員会（令和5年6月5日）において、評議員の一部選任並びに理事・監事の選任が行われた。その結果、評議員については、退任する4名の評議員の後任として、新たに4名の評議員が一部選任された。また、理事・監事については、新たに11名の理事と2名の監事が選任された。

なお、第12回定時評議員会終了後に、所属団体での異動による一部理事の退任が発生したため、決議の省略による書面での理事会（12月）並びに評議員会（1月）を開催し、退任する1名の理事の後任として、新たに1名の理事が一部選任された。

2. 委員会・部会の効率的な運営

委員会・部会の運営にあたっては、その機能を十分に発揮できるよう心がけた。

会議の開催状況は、企画委員会3回、審査委員会1回、事業委員会2回、技術教育部会4回、調査普及部会2回、研修部会2回となっている。

3. 経理・財務の状況

主な収入は関係団体からのご支援による賛助会費及び寄附金と、国債並びに仕組預金等の運用による基本財産運用益である。令和5年度は、賛助会費の一部減額が継続するも、基本財産運用益の増加により当初計画に対し約77万円の増収となった。支出面においては、自動車技術教育の支援強化に向けた担当者の直接雇用、過去最多を記録した教材提供申し込み校数などの増加要素があったが、事業運営の効率化などで費用を節減し当初計画を約193万円下回った。

〔VI〕 庶務事項

1. 事務局体制

・令和6年3月31日現在の業務分担は以下のとおりである。

役 職	氏 名	担当業務	担当会議
専務理事	上橋 義弘	事業統括、事務局統括 (調査研究事業)	理事会・評議員会 企画委員会、事業委員会
常務理事	有賀 潔	調査研究事業、普及啓発事業、 経理・財務、システム	調査普及部会 (理事会・評議員会)
部 長	山本 実	技術教育支援事業	審査委員会、技術教育部会
部 長	市野 真也	研修事業 総務	研修部会 (理事会・評議員会)
技術顧問	清水 譲二	技術教育支援事業特命業務	
職 員	下野 尚美	(経理、総務、研修)	(研修部会)
職 員	山内しのぶ	(技術教育、研修、総務) (調査、普及啓発)	(企画委員会、事業委員会) (審査委員会、技術教育部会) (調査普及部会)

※ () 内は副担当としてのアシスト業務を示す

2. 賛助会費・寄附金の状況

・令和5年度の賛助会費・寄附金は以下の通りである。

<賛助団体名>	<金 額>
・(一社) 日本自動車工業会	31,000 千円
・(一社) 日本損害保険協会	2,400 千円
・(一社) 日本自動車販売協会連合会	4,800 千円
・(一社) 日本自動車連盟	1,200 千円
・(一社) 日本自動車会議所	600 千円
・(一社) 全国軽自動車協会連合会	1,200 千円
・(一社) 日本中古自動車販売協会連合会	600 千円
・(一社) 日本自動車整備振興会連合会	600 千円
・(一財) 自動車検査登録情報協会	600 千円
合 計	43,000 千円

<寄附団体名>	<金 額>
・(一社) 日本自動車機械工具協会	6,000 千円
合 計	6,000 千円

以 上

【資料1-1】令和5年度 講師派遣実績（自動車技術）

No.	都道府県	主催	開催日	テーマ	講師派遣会社	担当 (敬称略)	受講人数
1	北海道	滝川工業高等学校	5/31	トヨタ自動車 ハイブリッド車について	札幌トヨベツト(株)	渡辺 横也	22
2	奈良	県立奈良商工高等学校	6/12	日産自動車 電気自動車について	(株)日産サテリオ奈良	松井 健治	45
3	兵庫	県立洲本実業高等学校	6/23	トヨタ自動車 ハイブリッド車について	兵庫トヨタ自動車(株)	吉岡 和也	32
4	北海道	北海道富良野緑峰高等学校	6/30	日産自動車 電気自動車について	旭川日産自動車(株)	小山 智之	48
5	長野	下伊那農業高等学校	7/7	トヨタ自動車 ハイブリッド車について	NTPトヨタ信州(株)	村田 博司	18
6	栃木	県立小山北桜高等学校	7/14	トヨタ自動車 ハイブリッド車について	栃木トヨタ自動車(株)	黒田 幸治	15
7	兵庫	県立姫路工業高等学校	7/18	日産自動車 電気自動車について	兵庫日産自動車(株)	土井 広行	75
8	宮城	宮城県加美農業高等学校	7/24	マツダ 電動化技術によるクルマの楽しさと環境の両立	(株)東北マツダ	多田 大介	20
9	宮城	宮城県加美農業高等学校	7/25	トヨタ自動車 ハイブリッド車について	宮城トヨタ自動車(株)	中村 雄太	20
10	宮城	宮城県加美農業高等学校	7/26	日産自動車 電気自動車について	(株)日産サテリオ宮城	小室 高洋	20
11	宮城	宮城県加美農業高等学校	7/27	本田技研工業 e:HEVについて	(株)ホンダ四輪販売南・東北	菊池 聡	20
12	宮城	宮城県加美農業高等学校	7/28	三菱自動車 EV・PHEVを用いた持続可能な社会に向けて	宮城三菱自動車販売(株)	石川 栄好	20
13	宮城	宮城県農業高等学校	8/8	日産自動車 電気自動車について	(株)日産サテリオ宮城	吉野 弘達	40
14	沖縄	沖縄県工業教育研究会自動車部会	8/18	自動車整備振興会 電子制御エンジンの構造と点検・整備	沖縄県自動車整備振興会	仲程 智武	20
15	長野	下伊那農業高等学校	8/29	日産自動車 電気自動車について	松本日産自動車(株)	滝沢 義正	30
16	神奈川	県立向の岡工業高等学校	9/4	マツダ 電動化技術によるクルマの楽しさと環境の両立	(株)関東マツダ	吉村 政夫	78
17	長崎	県立島原工業高等学校	9/21	日産自動車 電気自動車について	長崎日産自動車(株)	草野 孝宏	27
18	長崎	県立島原工業高等学校	10/17	トヨタ自動車 ハイブリッド車について	長崎トヨベツト(株)	荒木 義久	40
19	新潟	県立新潟県立工業高等学校	10/18	日産自動車 電気自動車について	日産プリンス新潟販売(株)	川内 克幸	105
20	埼玉	県立春日部工業高等学校	10/19	日産自動車 電気自動車について	日産プリンス埼玉販売(株)	渋谷 泰幸	40
21	埼玉	県立春日部工業高等学校	10/19	日産自動車 電気自動車について	日産プリンス埼玉販売(株)	渋谷 泰幸	39
22	静岡	県立遠江総合高等学校	11/1	トヨタ自動車 ハイブリッド車について	ネットトヨタ静岡(株)	鈴木 啓幹	60
23	広島	広島市立広島工業高等学校	11/2	トヨタ自動車 ハイブリッド車について	広島トヨタ自動車(株)	藤井 佑太	39
24	岐阜	県立岐阜総合学園高等学校	11/7	マツダ 電動化技術によるクルマの楽しさと環境の両立	東海マツダ販売(株)	黒野 修	75
25	長崎	県立島原工業高等学校	11/9	マツダ 電動化技術によるクルマの楽しさと環境の両立	西九州マツダ(株)	小柳 政人	30
26	宮城	宮城県高等学校工業教育研究会機械系分科会	11/29	日産自動車 電気自動車について	(株)日産サテリオ宮城	阿部 典昭	35
27	群馬	県立富岡実業高等学校	11/29	日産自動車 電気自動車について	(株)日産サテリオ群馬	神澤 弘昭	40
28	長崎	県立佐世保工業高等学校	12/7	日産自動車 電気自動車について	長崎日産自動車(株)	草野 孝宏	48
29	長崎	県立佐世保工業高等学校	12/7	トヨタ自動車 ハイブリッド車について	長崎トヨベツト(株)	荒木 義久	48
30	長崎	県立佐世保工業高等学校	12/8	本田技研工業 e:HEVについて	(株)ホンダ四輪販売九州北	松本 大介	48
31	青森	弘前東高等学校	1/18	日産自動車 電気自動車について	(株)日産サテリオ弘前	対馬 昭人	32
32	青森	弘前東高等学校	1/19	トヨタ自動車 ハイブリッド車について	青森トヨタ自動車(株)	黒石 祐	32
33	神奈川	県立川崎工科高等学校	1/30	マツダ 電動化技術によるクルマの楽しさと環境の両立	(株)関東マツダ	清水 政義	26
34	神奈川	県立川崎工科高等学校	2/8	日産自動車 電気自動車について	神奈川日産自動車(株)	木ノ下 晃一	26
35	東京	都立総合工科高等学校	2/15	マツダ 電動化技術によるクルマの楽しさと環境の両立	東京マツダ販売(株)	高村 謙	36
36	東京	都立墨田工科高等学校	2/19	日産自動車 電気自動車について	日産東京販売(株)	安井 義幸	34
37	東京	都立墨田工科高等学校	2/19	日産自動車 電気自動車について	日産東京販売(株)	安井 義幸	35
38	神奈川	県立向の岡工業高等学校	3/15	日産自動車 電気自動車について	神奈川日産自動車(株)	木ノ下 晃一	78

【資料1-2】令和5年度 講師派遣実績(交通社会教育)

No.	都道府県	主催	開催日	テーマ		講師派遣団体・会社/支部	担当 (敬称略)	受講人数
				★：環境・交通技術	◇：交通安全			
1	富山	富山高専専門学校 本郷キャンパス	4/5	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	富山 林 宏二	215
2	長野	長野県松本工業高等学校	4/7	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	長野 吉川 瑠美	87
3	鹿児島	鹿児島修学館中学高等学校	4/10	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	鹿児島 原山 大器	414
4	静岡	県立小山高等学校	4/11	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	静岡 本村 渡	318
5	北海道	北海道剣淵高等学校	4/11	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	旭川 後藤 博行	86
6	神奈川	県立上溝南高等学校	4/11	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	神奈川 奥田 恭司	358
7	北海道	北海道登別明日中等教育学校	4/11	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	札幌 日下部 英明	159
8	北海道	北海道登別明日中等教育学校	4/11	◇	「自転車」を取り巻くリスクと損害保険の役割	日本損害保険協会	北海道 古川 浩	150
9	群馬	県立大泉高等学校	4/11	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	群馬 金子 公一	456
10	静岡	県立静岡城北高校	4/12	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	静岡 本村 渡	246
11	埼玉	県立特別支援学校坂戸ろう学園	4/12	◇	「自転車」を取り巻くリスクと損害保険の役割	日本損害保険協会	関東 小澤 純	29
12	大阪	府立茨木工科高等学校 定時制	4/12	◇	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	大阪 宮崎 祥文	51
13	千葉	県立糟橋高等学校	4/12	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	千葉 谷 宗一郎	250
14	宮城	宮城県多賀城高等学校	4/12	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	宮城 宮腰 直人	280
15	青森	県立野辺地高等学校	4/12	◇	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	青森 中園 浩二	95
16	北海道	北星学園大学附属高等学校	4/12	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	札幌 日下部 英明	262
17	兵庫	西宮市立西宮東高等学校	4/13	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	兵庫 頭井 与志範	291
18	鹿児島	県立鹿児島高等特別支援学校	4/13	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	鹿児島 原山大器	90
19	兵庫	県立鳴尾高等学校	4/13	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	兵庫 福田 剛	321
20	広島	県立福山商業高等学校	4/13	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	広島 西原 大介	444
21	宮城	宮城県工業高等学校	4/13	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	宮城 渋谷 輝明	296
22	秋田	県立大曲農業高等学校太田分校	4/14	◇	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	秋田 泉 寿和	41
23	福井	県立美方高等学校	4/14	◇	「自転車」を取り巻くリスクと損害保険の役割	日本損害保険協会	北陸 田内 幸雄	153
24	岩手	県立花巻北高等学校	4/14	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	岩手 日戸 一樹	225
25	北海道	北海道長万部高等学校	4/14	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	函館 中者 善元	45
26	福島	県立福島明成高等学校	4/14	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福島 渡辺 周二	169
27	長野	長野女子高等学校	4/14	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	長野 吉川 瑠美	69
28	宮城	宮城県仙台三桜高等学校	4/14	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	宮城 渋谷 輝明	840
29	三重	県立宇治山田商業高等学校	4/14	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	三重 松尾 和則	197
30	大阪	府立箕面東高等学校	4/17	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	大阪 上原 伸公	320
31	愛知	県立西春高等学校	4/17	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	愛知 江崎 俊哉	1,070
32	群馬	県立前橋西高等学校	4/17	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	群馬 田中 政彦	470
33	兵庫	県立阪神昆陽高等学校 1~2部	4/18	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	兵庫 頭井 与志範	144
34	岐阜	県立西濃高等特別支援学校	4/18	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	岐阜 浅地 茂樹	87
35	兵庫	県立阪神昆陽高等学校 3部	4/18	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	兵庫 頭井 与志範	38
36	福岡	県立明善高等学校	4/18	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福岡 廣瀬 翔	837
37	福岡	県立福岡農業高等学校	4/18	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福岡 田上 至道	530
38	北海道	北海道遠別農業高等学校	4/18	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	旭川 後藤 博行	58
39	滋賀	県立大津清陵高等学校	4/19	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	滋賀 廣瀬 隆一	150
40	北海道	北海道弟子屈高等学校	4/19	◇	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	釧路 松谷 件人	64
41	群馬	県立伊勢崎清明高等学校	4/19	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	群馬 金子 公一	675
42	北海道	北海道野幌高等学校	4/19	◇	交通事故を起こして問われる責任と損害保険の役割	日本損害保険協会	北海道 金子 佐名枝	290
43	岩手	県立盛岡峰南高等支援学校	4/19	◇	「自転車」を取り巻くリスクと損害保険の役割	日本損害保険協会	東北 川崎 幸一	119
44	福島	県立福島東高等学校	4/19	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福島 渡辺 周二	701
45	岩手	県立盛岡第三高等学校	4/19	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	岩手 日戸 一樹	900
46	北海道	北海道富良野高等学校	4/19	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	旭川 後藤 博行	365
47	徳島	県立吉野川高等学校	4/20	◇	「自転車」を取り巻くリスクと損害保険の役割	日本損害保険協会	四国 斉藤 利幸	334
48	岐阜	県立岐山高等学校	4/20	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	岐阜 浅地 茂樹	981

【資料1-2】令和5年度 講師派遣実績(交通社会教育)

No.	都道府県	主催	開催日	テーマ		講師派遣団体・会社/支部	担当 (敬称略)	受講人数
				★：環境・交通技術	◇：交通安全			
49	福島	県立郡山高等学校	4/20	◇	「自転車」を取り巻くリスクと損害保険の役割	日本損害保険協会	東北 斎藤 桂司	480
50	大阪	府立三島高等学校	4/20	◇	「自転車」を取り巻くリスクと損害保険の役割	日本損害保険協会	近畿 隅田 清	360
51	福島	県立須賀川桐陽高等学校	4/20	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福島 渡辺 周二	243
52	新潟	県立小千谷西高等学校	4/21	◇	「自転車」を取り巻くリスクと損害保険の役割	日本損害保険協会	関東 村上 重隆	280
53	宮城	宮城県黒川高等学校	4/21	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	宮城 渋谷 輝明	433
54	栃木	県立真岡高等学校	4/21	◇	「自転車」を取り巻くリスクと損害保険の役割	日本損害保険協会	関東 道家 謙太郎	595
55	北海道	北海道枝幸高等学校	4/21	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	旭川 後藤 博行	41
56	福島	県立清陵情報高等学校	4/21	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福島 田代 秀之	623
57	神奈川	向上高等学校	4/24	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	神奈川 奥田 恭司	1,570
58	北海道	北海道千歳高等学校	4/24	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	札幌 日下部 英明	330
59	秋田	県立栗田支援学校	4/24	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田 泉 寿和	35
60	愛知	県立岩津高等学校	4/24	◇	交通事故を起こして問われる責任と損害保険の役割	日本損害保険協会	中部 鈴木 勝彦	500
61	秋田	県立栗田支援学校	4/25	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田 泉 寿和	73
62	福岡	県立小郡高等学校	4/25	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福岡 廣瀬 翔	600
63	北海道	北海道釧路明輝高等学校	4/25	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	釧路 松谷 件人	184
64	石川	県立金沢錦丘高等学校	4/25	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	石川 南出 衣里奈	328
65	秋田	県立秋田西高等学校	4/26	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田 泉 寿和	489
66	宮城	県立支援学校小田田高等学園	4/26	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	宮城 宮腰 直人	108
67	福島	県立本宮高等学校	4/26	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福島 渡辺 周二	92
68	東京	都立南葛飾高等学校	4/26	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	東京 山根 喬文	239
69	島根	県立出雲商業高等学校	4/26	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	島根 伊藤 昇	490
70	長野	長野県篠ノ井高等学校	4/27	◇	「自転車」を取り巻くリスクと損害保険の役割	日本損害保険協会	関東 上原 敬	721
71	青森	県立青森北高等学校	4/27	◇	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	青森 三上 順平・渋谷 輝明	600
72	佐賀	県立唐津特別支援学校	4/27	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	佐賀 下岡 忠司	64
73	北海道	北海道上富良野高等学校	4/27	◇	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	旭川 後藤 博行	88
74	富山	県立富山東高等学校	4/27	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	富山 林 宏二	720
75	北海道	北海道札幌東豊高等学校	4/27	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	札幌 日下部 英明	350
76	大阪	大阪信愛学院中等学校	4/28	◇	「自転車」を取り巻くリスクと損害保険の役割	日本損害保険協会	近畿 皆田 香織	500
77	鳥取	県立鳥取湖陵高等学校	4/28	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	鳥取 為廣 光章	458
78	群馬	県立高崎女子高等学校	4/28	◇	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	群馬 金子 公一	861
79	福島	県立会津工業高等学校	4/28	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福島 渡辺 周二	585
80	新潟	県立正徳館高等学校	4/28	◇	「自転車」を取り巻くリスクと損害保険の役割	日本損害保険協会	関東 小澤 純	76
81	沖縄	昭和薬科大学附属高等学校	4/28	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	沖縄 新里 稔	192
82	奈良	県立五條高等学校	4/29	◇	二輪車(バイク)の交通安全	日本二輪車普及安全協会	近畿 森継 崇	18
83	東京	都立世田谷総合高等学校	5/1	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	東京 杉本 実	705
84	愛知	県立豊橋商業高等学校	5/1	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	愛知 寺本 浩	255
85	東京	都立福生高等学校	5/1	◇	「自転車」を取り巻くリスクと損害保険の役割	日本損害保険協会	関東 道家 謙太郎	780
86	岩手	盛岡市立高等学校	5/1	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	岩手 日戸 一樹	814
87	栃木	県立上三川高等学校	5/2	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	栃木 田村 鋭夫	500
88	静岡	県立静岡北特別支援学校	5/2	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	静岡 原 康之	60
89	岩手	県立盛岡北高等学校	5/2	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	岩手 日戸 一樹	200
90	秋田	県立由利高等学校	5/9	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田 泉 寿和	507
91	沖縄	県立西崎特別支援学校	5/9	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	沖縄 新里 稔	66
92	秋田	県立ゆり支援学校	5/9	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田 泉 寿和	61
93	茨城	県立伊奈高等学校	5/9	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	茨城 鈴木 孝児	740
94	福島	県立磐城桜が丘高等学校	5/9	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福島 渡辺 周二	252
95	群馬	県立赤城特別支援学校	5/9	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	群馬 小暮 貴広	4
96	福島	福島東稜高等学校	5/10	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福島 渡辺 周二	789

【資料1-2】令和5年度 講師派遣実績(交通社会教育)

No.	都道府県	主催	開催日	テーマ		講師派遣団体・会社/支部	担当 (敬称略)	受講人数
				★：環境・交通技術	◇：交通安全			
97	滋賀	県立八幡商業高等学校	5/10	◇	「自転車」を取り巻くリスクと損害保険の役割	日本損害保険協会	近畿 北条 昌明	260
98	秋田	県立雄物川高等学校	5/10	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田 泉 寿和	101
99	埼玉	武南高等学校	5/10	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	埼玉 宇木 一志	490
100	大阪	府立富田林高等学校	5/11	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	大阪 宮崎 祥文	240
101	愛知	県立安城南高等学校	5/11	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	愛知 山崎 剛司	953
102	千葉	県立柏の葉高等学校	5/11	◇	交通事故を起こして問われる責任と損害保険の役割	日本損害保険協会	関東 竹島 亜機雄	920
103	長野	長野県飯田高等学校	5/11	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	長野 吉川 瑠美	717
104	愛知	県立安城農林高等学校	5/11	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	愛知 江崎 俊哉	252
105	北海道	北海道美唄尚栄高等学校	5/11	◇	「自転車」を取り巻くリスクと損害保険の役割	日本損害保険協会	北海道 古川 浩	160
106	福島	桜の聖母学院中学校・高等学校	5/11	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福島 渡辺 周二	59
107	秋田	県立本荘高等学校	5/11	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田 泉 寿和	605
108	岩手	県立盛岡ひがし支援学校	5/11	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	岩手 日戸 一樹	47
109	鹿児島	県立山川高等学校	5/12	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	鹿児島 原山 大器	75
110	北海道	北海道苫小牧南高等学校	5/12	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	札幌 日下部 英明	469
111	山梨	県立甲府第一高等学校	5/12	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	山梨 高木 孝	720
112	群馬	県立沼田特別支援学校	5/12	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	群馬 小暮 貴広	21
113	宮城	宮城県名取北高等学校	5/12	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	宮城 宮腰 直人	762
114	三重	県立桑名北高等学校	5/13	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	三重 松尾 和則	361
115	福岡	県立水産高等学校	5/15	◇	「自転車」を取り巻くリスクと損害保険の役割	日本損害保険協会	九州 新富 正昭	515
116	大阪	府立貝塚高等学校	5/15	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	大阪 中植 啓伸	244
117	群馬	県立高崎北高等学校	5/16	◇	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	群馬 金子 公一	750
118	福島	県立小野高等学校	5/16	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福島 渡辺 周二	120
119	東京	都立南葛飾高等学校	5/17	◇	「自転車」を取り巻くリスクと損害保険の役割	日本損害保険協会	関東 道家 謙太郎	226
120	福島	県立福島商業高等学校	5/17	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福島 渡辺 周二	250
121	大分	吉用学園柳ヶ浦高等学校	5/17	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	大分 谷口 義弘	485
122	岩手	県立水沢商業高等学校	5/17	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	岩手 日戸 一樹	290
123	兵庫	神戸野田高等学校	5/17	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	兵庫 頭井与 志範	40
124	山形	県立鶴岡工業高等学校 定時制	5/17	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	山形 野川 智伸	20
125	秋田	県立秋田北高等学校	5/18	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田 泉 寿和	668
126	北海道	北海道奈井江商業高等学校	5/18	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	札幌 日下部 英明	35
127	岐阜	県立海津特別支援学校	5/18	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	岐阜 中村 眞治	26
128	福島	桜の聖母学院中学校・高等学校	5/18	◇	交通事故を起こして問われる責任と損害保険の役割	日本損害保険協会	東北 佐久間 進	84
129	山形	県立山形養護学校	5/18	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	山形 野川 智伸	16
130	愛知	県立東海樟風高等学校	5/19	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	愛知 伊藤 里帆	699
131	福島	県立二本松実業高校 安達東校舎	5/19	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福島 渡辺 周二	56
132	福島	県立福島南高等学校	5/19	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福島 田代 秀之	468
133	茨城	県立土浦第二高等学校	5/19	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	茨城 鈴木 孝児	314
134	北海道	北海道網走桂陽高等学校	5/19	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	北見 高橋 純	343
135	青森	県立弘前第一養護学校 高等部校舎	5/19	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	青森 中園 浩二	53
136	栃木	県立国分寺特別支援学校	5/23	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	栃木 大西 健	60
137	北海道	北海道大空高等学校	5/23	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	北見 高橋 純	115
138	北海道	北海道江差高等学校	5/23	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	函館 中者 善元	191
139	岐阜	県立可児工業高等学校	5/24	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	岐阜 大嶽 悟	515
140	熊本	県立八代東高等学校	5/24	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	熊本 緒方 将	250
141	山梨	県立日川高等学校	5/24	◇	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	山梨 高木 孝	630
142	愛知	県立日進西高等学校	5/24	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	愛知 寺本 浩	937
143	秋田	県立矢島高等学校	5/24	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田 横岡 彰	54
144	熊本	県立八代清流高等学校	5/25	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	熊本 緒方 将	427

【資料1-2】令和5年度 講師派遣実績(交通社会教育)

No.	都道府県	主催	開催日	テーマ		講師派遣団体・会社/支部	担当 (敬称略)	受講人数
				★：環境・交通技術	◇：交通安全			
145	長崎	県立島原高等学校	5/25	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	長崎 松本 義昭	612
146	宮城	宮城県柴田農林高等学校川崎校 県立支援学校岩沼高等学園川崎キャンパス	5/25	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	宮城 宮腰 直人	94
147	長野	長野県丸子修学館高等学校	5/25	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	長野 吉川 瑠美	670
148	山梨	県立甲府昭和高等学校	5/26	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	山梨 高木 孝	231
149	福島	県立会津第二高等学校	5/26	◇	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	福島 田代 秀之	33
150	岐阜	県立東濃フロンティア高等学校	5/26	◇	「自転車」を取り巻くリスクと損害保険の役割	日本損害保険協会	中部 高橋 勝巳	189
151	秋田	県立男鹿工業高等学校	5/26	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田 横岡 彰	232
152	秋田	県立角館高等学校	5/26	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田 泉 寿和	554
153	福島	県立ふたば未来学園高等学校	5/26	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福島 渡辺 周二	380
154	大阪	東大阪大学柏原高等学校	5/29	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	大阪 上原 伸公	155
155	青森	県立三戸高等学校	5/30	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	青森 中園 浩二	101
156	群馬	県立伊勢崎商業高等学校	5/30	◇	「自転車」を取り巻くリスクと損害保険の役割	日本損害保険協会	関東 細野 幸男	700
157	秋田	秋田市立御所野学院高等学校	5/31	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田 泉 寿和	190
158	福島	県立福島西高等学校	5/31	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福島 田代 秀之	195
159	愛知	県立高蔵寺高等学校	5/31	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	愛知 江崎 俊哉	321
160	福島	県立いわき総合高等学校	6/1	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福島 渡辺 周二	200
161	愛知	県立愛西工科高等学校	6/1	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	愛知 山崎 剛司	342
162	大阪	府立豊芸高等学校	6/1	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	大阪 中植 啓伸	202
163	宮城	宮城県石巻高等学校	6/2	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	宮城 宮腰 直人	616
164	山形	山形県教育委員会 (山形県立鶴岡中央高等学校)	6/2	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	山形 野川 智伸	200
165	長野	長野清泉学院中学・高等学校	6/3	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	長野 吉川 瑠美	383
166	秋田	県立大曲農業高等学校	6/7	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田 横岡 彰	493
167	福岡	県立筑後特別支援学校	6/7	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福岡 田上 哲朗	133
168	北海道	北海道苫小牧工業高等学校 定時制	6/8	◇	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	札幌 日下部 英明	35
169	島根	松江市立皆美が丘女子高等学校	6/8	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	島根 伊藤 昇	333
170	青森	県立五所川原農林高等学校	6/9	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	青森 中園 浩二	298
171	徳島	県立徳島聴覚支援学校	6/9	◇	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	徳島 角田 義道	18
172	兵庫	甲南高等学校・中学校	6/9	★	自動運転と倫理法律問題	I T S J a p a n	- 佐藤 昌之	36
173	東京	都立総合工科高等学校	6/10	◇	「自転車」を取り巻くリスクと損害保険の役割	日本損害保険協会	関東 竹島 亜機雄	400
174	山形	県立新庄北高等学校 最上校	6/13	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	山形 野川 智伸	37
175	茨城	県立取手第一高等学校	6/14	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	茨城 鈴木 孝児	730
176	東京	都立南葛飾高等学校	6/14	◇	交通事故を起こして問われる責任と損害保険の役割	日本損害保険協会	関東 道家 謙太郎	214
177	秋田	県立六郷高等学校	6/14	◇	「自転車」を取り巻くリスクと損害保険の役割	日本損害保険協会	東北 川崎 幸一	138
178	静岡	県立椛原高等学校	6/15	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	静岡 本村 渡	200
179	埼玉	県立松伏高等学校	6/15	◇	「自転車」を取り巻くリスクと損害保険の役割	日本損害保険協会	関東 竹島 亜機雄	489
180	愛知	県立衣台高等学校	6/15	★	自動運転技術が拓く未来と人との協調	N A C	- 西村 直人	129
181	大阪	大阪体育大学浪商高等学校	6/15	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	大阪 上原 伸公	860
182	愛知	聖カピタニオ女子高等学校	6/15	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	愛知 江崎 俊哉	160
183	群馬	県立渋川女子高等学校	6/16	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	群馬 金子 公一	596
184	北海道	北海道小平高等養護学校	6/16	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	旭川 後藤 博行	46
185	鹿児島	県立与論高等学校	6/16	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	鹿児島 原山 大器	120
186	富山	県立富山北部高等学校	6/16	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	富山 林 宏二	216
187	静岡	県立掛川東高等学校	6/19	◇	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	静岡 望月 滋	650
188	東京	都立板橋有徳高等学校	6/20	◇	「自転車」を取り巻くリスクと損害保険の役割	日本損害保険協会	関東 細野 幸男	38
189	岩手	県立花北青雲高等学校	6/20	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	岩手 日戸 一樹	428
190	大阪	府立登美丘高等学校	6/22	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	大阪 宮崎 祥文	840
191	愛知	聖カピタニオ女子高等学校	6/22	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	愛知 江崎 俊哉	180
192	福井	県立坂井高等学校	6/22	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福井 義野 敏久	738

【資料1-2】令和5年度 講師派遣実績(交通社会教育)

No.	都道府県	主催	開催日	テーマ		講師派遣団体・会社/支部	担当 (敬称略)	受講人数
				★：環境・交通技術	◇：交通安全			
193	山形	山形県教育委員会 (県立山形工業高等学校)	6/23	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 山形	野川 智伸	50
194	静岡	県立島田高等学校	6/26	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 静岡	本村 渡	550
195	山形	県立新庄神室産業高等学校	6/27	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 山形	野川 智伸	93
196	岩手	県立宮古商工高等学校	6/28	◇	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟 岩手	日戸 一樹	485
197	福岡	県立浮羽工業高等学校	6/28	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 福岡	田上 哲朗	350
198	福岡	大牟田高等学校	6/28	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 福岡	廣瀬 翔	940
199	大阪	府立都島工業高等学校	6/29	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 大阪	宮崎 祥文	285
200	鹿児島	県立国分高等学校	6/29	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 鹿児島	原山 大器	750
201	茨城	県立麻生高等学校	7/3	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 茨城	鈴木 孝児	578
202	富山	富山第一高等学校	7/4	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 富山	林 宏二	47
203	岐阜	県立大垣商業高校 定時制	7/5	◇	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟 岐阜	中村 眞治	45
204	茨城	県立鬼怒商業高等学校	7/7	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 茨城	鈴木 孝児	146
205	福岡	県立八女工業高等学校	7/11	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 福岡	廣瀬 翔	750
206	富山	県立小矢部園芸高等学校	7/11	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 富山	林 宏二	56
207	秋田	県立西目高等学校	7/11	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 秋田	泉 寿和	114
208	兵庫	県立明石南高等学校	7/12	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 兵庫	頭井与 志範	280
209	埼玉	県立久喜北陽高等学校	7/14	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 埼玉	本木 昌造	310
210	東京	都立久留米西高等学校	7/14	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 東京	由水 雅也	690
211	千葉	県立多古高等学校	7/14	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 千葉	花島 寛康	220
212	千葉	県立千葉工業高等学校 定時制	7/14	◇	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟 千葉	花島 寛康	75
213	千葉	柏市立柏高等学校	7/18	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 千葉	花島 寛康	890
214	埼玉	県立狭山緑陽高等学校	7/19	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 埼玉	宇木 一志	540
215	熊本	県立第一高等学校	7/19	◇	交通事故を起こして問われる責任と損害保険の役割	日本損害保険協会 九州	村上 立志	360
216	三重	県立四日市工業高等学校	7/20	◇	交通事故を起こして問われる責任と損害保険の役割	日本損害保険協会 中部	鈴木 勝彦	84
217	北海道	北海道札幌白陵高等学校	7/21	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 札幌	日下部 英明	110
218	大阪	府立市岡高等学校	7/21	◇	交通事故を起こして問われる責任と損害保険の役割	日本損害保険協会 近畿	隅田 清	827
219	茨城	明秀学園日立高等学校	7/21	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 茨城	鈴木 孝児	928
220	青森	県立森田養護学校	7/26	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 青森	中園 浩二	47
221	京都	京都美山高等学校	7/26	◇	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟 京都	中下 尋介	53
222	静岡	県立小山高等学校 主催 静岡県東部北駿地区 高校5校	7/28	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 静岡	本村 渡	13
223	熊本	県立人吉高等学校 定時制	8/23	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 熊本	緒方 将	20
224	秋田	県立湯沢高等学校	8/31	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 秋田	泉 寿和	431
225	大阪	城南学園中学校・高等学校	9/1	◇	交通事故を起こして問われる責任と損害保険の役割	日本損害保険協会 近畿	木村 耕造	480
226	茨城	県立つくば工科高等学校	9/5	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 茨城	鈴木 孝児	150
227	奈良	山添村立奈良県立山辺高等学校山添分校	9/6	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 奈良	高木 鐘一	17
228	秋田	県立大館鳳鳴高等学校	9/6	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 秋田	泉 寿和	596
229	長野	長野県諏訪実業高等学校	9/7	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 長野	吉川 瑠美	400
230	福島	県立白河第二高等学校	9/11	◇	交通事故を起こして問われる責任と損害保険の役割	日本損害保険協会 東北	石川 静男	60
231	栃木	県立上三川高等学校	9/12	◇	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟 栃木	田村 鋭夫	480
232	愛知	県立一宮起工科高等学校 昼間定時制	9/13	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 愛知	江崎 俊哉	170
233	三重	県立伊賀白鳳高等学校	9/13	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 三重	松尾 和則	250
234	群馬	県立利根実業高等学校	9/14	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 群馬	小暮 貴広	326
235	熊本	県立人吉高等学校 五木分校	9/15	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 熊本	緒方 将	23
236	群馬	県立高崎高等特別支援学校	9/20	◇	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟 群馬	金子 公一	108
237	大阪	東大阪大学柏原高等学校	9/20	◇	「自転車」を取り巻くリスクと損害保険の役割	日本損害保険協会 近畿	皆田 香織	153
238	長野	長野県東御清翔高等学校	9/20	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 長野	吉川 瑠美	300
239	北海道	海星学院高等学校	9/21	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 札幌	細川 広夢	210
240	長野	地球環境高等学校	9/25	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 長野	吉川 瑠美	92

【資料1-2】令和5年度 講師派遣実績(交通社会教育)

No.	都道府県	主 催	開催日	テーマ		講師派遣団体・会社/支部	担当 (敬称略)	受講人数	
				★：環境・交通技術	◇：交通安全				
241	群馬	県立下仁田高等学校	9/26	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 群馬	金子 公一	73	
242	茨城	県立水戸商業高等学校	9/27	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 茨城	鈴木 孝児	341	
243	山口	県立下関北高等学校	9/28	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 山口	横平 一平	150	
244	宮崎	県立宮崎大宮高等学校	9/28	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 宮崎	田代 芳久	360	
245	福島	桜の聖母学院中学校・高等学校	9/29	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 福島	渡辺 周二	61	
246	秋田	県立秋田明徳館高等学校 定時制	10/2	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 秋田	泉 寿和	333	
247	新潟	県立小千谷西高等学校	10/3	◇	交通事故を起こして問われる責任と損害保険の役割	日本損害保険協会 関東	細野 幸男	150	
248	栃木	県立小山西高等学校	10/3	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 栃木	田村 鋭夫	620	
249	長野	長野県下伊那農業高等学校	10/3	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 長野	吉川 瑠美	48	
250	福島	県立福島商業高等学校	10/3	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 福島	渡辺 周二	400	
251	岐阜	県立山県高等学校	10/5	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 岐阜	浅地 茂樹	220	
252	秋田	県立能代高等学校	10/5	◇	「自転車」を取り巻くリスクと損害保険の役割	日本損害保険協会 東北	川崎 幸一	548	
253	秋田	県立増田高等学校	10/6	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 秋田	泉 寿和	311	
254	茨城	県立日立商業高等学校	10/11	◇	交通事故を起こして問われる責任と損害保険の役割	日本損害保険協会 関東	北澤 一保	200	
255	大阪	東大阪大学柏原高等学校	10/11	◇	交通事故を起こして問われる責任と損害保険の役割	日本損害保険協会 近畿	木村 耕造	130	
256	大阪	府立都島第二工業高等学校	10/18	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 大阪	中植 啓伸	60	
257	佐賀	県立牛津高等学校	10/18	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 佐賀	下岡 忠司	272	
258	福岡	大牟田高等学校	10/23	◇	交通事故を起こして問われる責任と損害保険の役割	日本損害保険協会 九州	松永 寿一郎	391	
259	三重	県立桑名西高等学校	10/25	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 三重	結城 孝一	850	
260	鹿児島	県立喜界高等学校	10/26	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 鹿児島	原山 大器	160	
261	愛知	名古屋市教育センター 研究調査部	10/27	★	自動運転と倫理法律問題	I T S J a p a n	-	佐藤 昌之	17
262	秋田	県立大曲支援学校	10/30	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 秋田	泉 寿和	70	
263	愛知	県立いなざわ特別支援学校	10/30	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 愛知	江崎 俊哉	56	
264	秋田	県立秋田北鷹高等学校	11/1	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 秋田	泉 寿和	565	
265	愛知	県立安城高等学校 定時制	11/6	◇	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟 愛知	永崎 竜也	52	
266	栃木	県立上三川高等学校	11/7	◇	「自転車」を取り巻くリスクと損害保険の役割	日本損害保険協会 関東	村上 重隆	160	
267	愛知	県立国府高等学校	11/8	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 愛知	江崎 俊哉	610	
268	茨城	県立江戸崎総合高等学校	11/8	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 茨城	鈴木 孝児	130	
269	大阪	府立りんくう翔南高等学校	11/9	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 大阪	宮崎 祥文	205	
270	秋田	県立大曲農業高等学校太田分校	11/10	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 秋田	泉 寿和	34	
271	神奈川	県立川崎高等学校	11/15	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 神奈川	奥田 恭司	230	
272	福島	県立小野高等学校	11/15	◇	交通事故を起こして問われる責任と損害保険の役割	日本損害保険協会 東北	佐久間 進	25	
273	山形	山形明正高等学校	11/15	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 山形	野川 智伸	118	
274	千葉	県立関宿高等学校	11/16	◇	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟 千葉	谷 宗一郎	180	
275	秋田	県立角館高等学校 定時制	11/17	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 秋田	泉 寿和	35	
276	神奈川	県立平塚工科高等学校	11/22	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 神奈川	奥田 恭司	286	
277	神奈川	県立新栄高等学校	11/24	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 神奈川	和田 俊司	354	
278	福島	県立いわき翠の杜高等学校	11/24	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 福島	渡辺 周二	40	
279	福島	県立いわき翠の杜高等学校(夜間制)	11/24	◇	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟 福島	渡辺 周二	4	
280	福島	桜の聖母学院中学校・高等学校	11/30	◇	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟 福島	渡辺 周二	106	
281	宮崎	県立日南振徳高等学校	12/1	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 宮崎	田代 芳久	469	
282	福岡	県立鞍手高等学校	12/4	◇	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟 福岡	守安 隆文	730	
283	北海道	北海道札幌南高等学校 定時制	12/6	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 札幌	細川 広夢	71	
284	岐阜	岐阜県教育委員会 美濃教育事務所	12/7	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 岐阜	浅地 茂樹	67	
285	秋田	県立大館鳳鳴高等学校 定時制課程	12/7	◇	交通事故を起こして問われる責任と損害保険の役割	日本損害保険協会 東北	川崎 幸一	52	
286	沖縄	県立沖縄ろう学校	12/8	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 沖縄	新里 稔	20	
287	茨城	水戸葵陵高等学校	12/8	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 茨城	鈴木 孝児	230	
288	広島	県立三次高等学校 定時制	12/13	◇	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟 広島	伊藤 穰爾	21	

【資料1-2】令和5年度 講師派遣実績(交通社会教育)

No.	都道府県	主催	開催日	テーマ		講師派遣団体・会社/支部		担当 (敬称略)	受講人数
				★：環境・交通技術	◇：交通安全				
289	岩手	県立住田高等学校	12/13	◇夜間の交通安全対策		日本自動車連盟	岩手	日戸 一樹	66
290	佐賀	県立高志館高等学校	12/15	◇二輪車(バイク)の交通安全		日本二輪車普及安全協会	九州	下田 勝久	9
291	千葉	県立津田沼高等学校	12/19	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	千葉	谷 宗一郎	1,005
292	茨城	県立土浦工業高等学校	12/19	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	茨城	鈴木 孝児	225
293	鹿児島	県立大島北高等学校	12/19	◇夜間の交通安全対策		日本自動車連盟	鹿児島	原山 大器	155
294	東京	都立小岩高等学校	12/20	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	東京	由水 雅也	1,064
295	千葉	県立松戸向陽高等学校	12/21	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	千葉	花島 寛康	612
296	東京	都立神津高等学校	12/21	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	東京	内藤 康介	18
297	鹿児島	鹿児島育英館中学・高等学校	12/27	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	鹿児島	森永 顕悟	18
298	茨城	水城高等学校	1/15	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	茨城	片岡 大	578
299	山形	県立小国高等学校	2/20	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	山形	野川 智伸	24
300	埼玉	県立宮代高等学校	3/13	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	埼玉	宇木 一志	500
301	東京	都立江北高等学校	3/22	◇ヘルメット着用の重要性		日本自動車連盟	東京	杉本 実	640
交通社会教育計									95,538
自動車技術教育計									1,496
総合計									97,034

【資料2】令和5年度教材贈呈式・教育懇談会開催状況

(敬称略)

■北海道

1. 日時	令和5年1月9日 13:30~14:30		
2. 場所	ホテルライフオーブ札幌		
3. 出席者	<p>(1) 来賓 北海道教育庁 学校教育局 高校教育課 指導主事 藤田 朋軌</p> <p>(2) 学校関係者 北海道 札幌工業 高等学校 校長 太田 潤一 北海道 函館工業 高等学校 校長 坂野 裕悦 北海道 滝川工業 高等学校 校長 馬道 淳一 北海道 旭川工業 高等学校 校長 稲津 誠 北海道 北見工業 高等学校 校長 小山 彰博 北海道 釧路工業 高等学校 校長 池原 智宏 北海道 帯広工業 高等学校 校長 中島 泰彰 北海道 室蘭工業 高等学校 校長 川村 広幸 北海道 苫小牧工業 高等学校 校長 諸橋 宏明 北海道 富良野緑峰 高等学校 校長 小野 博道 北海道 紋別 高等学校 校長 森田 泰史 北海道 美唄尚栄 高等学校 校長 升田 重樹 旭川実業 高等学校 校長 宮下 靖広</p> <p>(3) 財団関係者 (一社) 日本自動車販売協会連合会 札幌支部 支部長 沖田 俊弥 (一社) 日本自動車販売協会連合会 札幌支部 専務理事 福田 昇 (一社) 札幌地方自動車整備振興会 専務理事 千葉 順一</p> <p>(4) マスコミ (株) 日刊自動車新聞社 北海道支社 支社長 西村 真人 (株) 陸運情報社 常務理事 須川 太一</p>		

■栃木県

1. 日時	令和5年10月4日 13:00~14:30		
2. 場所	栃木県自動車会館		
3. 出席者	<p>(1) 来賓 栃木県教育委員会 事務局 高校教育課 指導主事 佐山 明示</p> <p>(2) 学校関係者 栃木県立 宇都宮工業 高等学校 校長 薄羽 正明 栃木県立 宇都宮工業 高等学校 教諭 高橋 兼吉 栃木県立 今市工業 高等学校 教諭 齋藤 茂紀 栃木県立 栃木工業 高等学校 教諭 谷田部和美 栃木県立 足利工業 高等学校 校長 茂出木 健 栃木県立 真岡工業 高等学校 教諭 鶴淵 博之 栃木県立 那須清峰 高等学校 教諭 今西 弘征 栃木県立 矢板 高等学校 科長 田代 浩之</p> <p>(3) 財団関係者 (一社) 日本自動車販売協会連合会 栃木県支部 支部長 小平 雅久 (一社) 日本自動車販売協会連合会 栃木県支部 専務理事 鈴木 忠明 (一社) 栃木県自動車整備振興会 専務理事 小川 栄治</p> <p>(4) マスコミ (株) 日刊自動車新聞社 関東支社 栃木支局長 森 進吉</p>		

■埼玉県

1. 日時	令和5年12月8日 13:00～14:30		
2. 場所	ロイヤルパインズホテル浦和		
3. 出席者	<p>(1) 来賓 埼玉県教育局 県立学校部 高校教育課 指導主事 高橋 秀夫</p> <p>(2) 学校関係者 埼玉県立川越工業高等学校 教諭 野坂 直志 埼玉県立川口工業高等学校 教諭 菅原 恒哉 埼玉県立川口工業高等学校定時制 教諭 馬場 昭宏 埼玉県立浦和工業高等学校 教諭 平田 聡 埼玉県立狭山工業高等学校 教諭 宮野 智之 埼玉県立久喜工業高等学校 教諭 田中 友歩 埼玉県立春日部工業高等学校 主任 大森 輝美 埼玉県立熊谷工業高等学校 校長 荻原 康之 埼玉県立進修館高等学校 教諭 田中 一朗 埼玉県立いずみ高等学校 教諭 秋山 由佳</p> <p>(3) 財団関係者 (一社) 日本自動車販売協会連合会 埼玉県支部 支部長 茂木 喜明 (一社) 日本自動車販売協会連合会 埼玉県支部 専務理事 塩原 良二 (一社) 埼玉県自動車整備振興会 会長 吉澤 裕 (一社) 埼玉県自動車整備振興会 理事 新島 佳和 埼玉県軽自動車協会 会長 田中 英徳 埼玉県軽自動車協会 専務理事 鈴木 徹 (一社) 日本自動車販売協会連合会 埼玉県支部 総務次長 大熊 秀明 (一社) 日本自動車販売協会連合会 埼玉県支部 総務課長 島貫 一美</p> <p>(4) マスコミ (株) 日刊自動車新聞社関東支社 埼玉支局長 藤井 美穂 (株) 交通毎日新聞社 専務理事 阿部 秀樹 (株) 交通毎日新聞社 部長 久保 俊子</p>		

■千葉県

1. 日時	令和5年10月31日 13:00～14:30		
2. 場所	千葉県自動車整備振興会 (千葉県自動車大学校見学)		
3. 出席者	<p>(1) 学校関係者 千葉県立千葉工業高等学校 校長 草刈 廣直 千葉県立千葉工業高等学校 学科長 藤澤 宏有 千葉県立下総高等学校 教諭 小柳 直人 千葉県立東総工業高等学校 教諭 綿貫 慎太郎</p> <p>(2) 財団関係者 (一社) 日本自動車販売協会連合会 千葉県支部 支部長 出野 祥平 (一社) 日本自動車販売協会連合会 千葉県支部 専務理事 齊藤 充弘 (一社) 千葉県自動車整備振興会 専務理事 大沼 栄次郎 (一社) 千葉県自動車整備振興会 常務理事 泉水 宏次 (一社) 日本自動車販売協会連合会 千葉県支部 総務課長 江澤 美香 千葉県自動車整備商工組合立 専門学校 千葉県自動車大学校 理事学校長 廣瀬 浩明 千葉県自動車整備商工組合立 専門学校 千葉県自動車大学校 教育部長 山下 伸二</p> <p>(3) マスコミ (株) 日刊自動車新聞社関東支社 千葉支局長 斎藤 匡</p>		

■東京都

1. 日時	令和5年12月19日 13:00～14:30																																																																														
2. 場所	ホテル雅叙園東京																																																																														
3. 出席者	<p>(1) 学校関係者</p> <table border="0"> <tr> <td>東京都立科学技術高等学校</td> <td>教諭</td> <td>伊藤</td> <td>翔</td> </tr> <tr> <td>東京都立北豊島工科高等学校</td> <td>校長</td> <td>中里</td> <td>真一</td> </tr> <tr> <td>東京都立北豊島工科高等学校定時制</td> <td>副校長</td> <td>猪瀬</td> <td>高宏</td> </tr> <tr> <td>東京都立墨田工科高等学校</td> <td>教諭</td> <td>木村</td> <td>壮一</td> </tr> <tr> <td>東京都立世田谷総合高等学校</td> <td>教諭</td> <td>青海</td> <td>航平</td> </tr> <tr> <td>東京都立総合工科高等学校定時制</td> <td>教諭</td> <td>小俣</td> <td>雅史</td> </tr> <tr> <td>東京都立中野工科高等学校</td> <td>教諭</td> <td>美濃</td> <td>哲啓</td> </tr> <tr> <td>東京都立練馬工科高等学校</td> <td>主任</td> <td>宍戸</td> <td>達哉</td> </tr> <tr> <td>東京都立町田工科高等学校</td> <td>校長</td> <td>池上</td> <td>信幸</td> </tr> <tr> <td>東京都立町田工科高等学校</td> <td>教諭</td> <td>森</td> <td>隆</td> </tr> <tr> <td>東京都立六郷工科高等学校</td> <td>校長</td> <td>福田</td> <td>健昌</td> </tr> <tr> <td>昭和鉄道高等学校</td> <td>教諭</td> <td>大村</td> <td>貴志</td> </tr> </table> <p>(2) 財団関係者</p> <table border="0"> <tr> <td>(一社) 日本自動車販売協会連合会 東京都支部</td> <td>支部長</td> <td>加藤</td> <td>和夫</td> </tr> <tr> <td>(一社) 日本自動車販売協会連合会 東京都支部</td> <td>専務理事</td> <td>高橋</td> <td>哲哉</td> </tr> <tr> <td>(一社) 東京都自動車整備振興会</td> <td>専務理事</td> <td>新井</td> <td>直樹</td> </tr> <tr> <td>(一社) 日本自動車販売協会連合会 東京都支部</td> <td>総務部長</td> <td>細沼</td> <td>聡</td> </tr> <tr> <td>(一社) 日本自動車販売協会連合会 東京都支部</td> <td>総務課長</td> <td>齋藤</td> <td>洋平</td> </tr> <tr> <td>(一社) 日本自動車販売協会連合会 東京都支部</td> <td></td> <td>菊谷</td> <td>知世</td> </tr> </table> <p>(3) マスコミ</p> <table border="0"> <tr> <td>(株) 日刊自動車新聞社東京支社</td> <td>東京支局長</td> <td>清水</td> <td>泰典</td> </tr> </table>			東京都立科学技術高等学校	教諭	伊藤	翔	東京都立北豊島工科高等学校	校長	中里	真一	東京都立北豊島工科高等学校定時制	副校長	猪瀬	高宏	東京都立墨田工科高等学校	教諭	木村	壮一	東京都立世田谷総合高等学校	教諭	青海	航平	東京都立総合工科高等学校定時制	教諭	小俣	雅史	東京都立中野工科高等学校	教諭	美濃	哲啓	東京都立練馬工科高等学校	主任	宍戸	達哉	東京都立町田工科高等学校	校長	池上	信幸	東京都立町田工科高等学校	教諭	森	隆	東京都立六郷工科高等学校	校長	福田	健昌	昭和鉄道高等学校	教諭	大村	貴志	(一社) 日本自動車販売協会連合会 東京都支部	支部長	加藤	和夫	(一社) 日本自動車販売協会連合会 東京都支部	専務理事	高橋	哲哉	(一社) 東京都自動車整備振興会	専務理事	新井	直樹	(一社) 日本自動車販売協会連合会 東京都支部	総務部長	細沼	聡	(一社) 日本自動車販売協会連合会 東京都支部	総務課長	齋藤	洋平	(一社) 日本自動車販売協会連合会 東京都支部		菊谷	知世	(株) 日刊自動車新聞社東京支社	東京支局長	清水	泰典
東京都立科学技術高等学校	教諭	伊藤	翔																																																																												
東京都立北豊島工科高等学校	校長	中里	真一																																																																												
東京都立北豊島工科高等学校定時制	副校長	猪瀬	高宏																																																																												
東京都立墨田工科高等学校	教諭	木村	壮一																																																																												
東京都立世田谷総合高等学校	教諭	青海	航平																																																																												
東京都立総合工科高等学校定時制	教諭	小俣	雅史																																																																												
東京都立中野工科高等学校	教諭	美濃	哲啓																																																																												
東京都立練馬工科高等学校	主任	宍戸	達哉																																																																												
東京都立町田工科高等学校	校長	池上	信幸																																																																												
東京都立町田工科高等学校	教諭	森	隆																																																																												
東京都立六郷工科高等学校	校長	福田	健昌																																																																												
昭和鉄道高等学校	教諭	大村	貴志																																																																												
(一社) 日本自動車販売協会連合会 東京都支部	支部長	加藤	和夫																																																																												
(一社) 日本自動車販売協会連合会 東京都支部	専務理事	高橋	哲哉																																																																												
(一社) 東京都自動車整備振興会	専務理事	新井	直樹																																																																												
(一社) 日本自動車販売協会連合会 東京都支部	総務部長	細沼	聡																																																																												
(一社) 日本自動車販売協会連合会 東京都支部	総務課長	齋藤	洋平																																																																												
(一社) 日本自動車販売協会連合会 東京都支部		菊谷	知世																																																																												
(株) 日刊自動車新聞社東京支社	東京支局長	清水	泰典																																																																												

■富山県

1. 日時	令和5年11月28日 13:00～14:30																																																						
2. 場所	トヨタモビリティ富山株式会社 Gスクエア五福店																																																						
3. 出席者	<p>(1) 学校関係者</p> <table border="0"> <tr> <td>富山県立富山工業高等学校</td> <td>教頭</td> <td>竹本</td> <td>宏彰</td> </tr> <tr> <td>富山県立富山工業高等学校</td> <td>教諭</td> <td>石黒</td> <td>雄一</td> </tr> <tr> <td>富山県立砺波工業高等学校</td> <td>教諭</td> <td>荒井</td> <td>謙三</td> </tr> <tr> <td>富山県立魚津工業高等学校</td> <td>主任</td> <td>富岡</td> <td>政裕</td> </tr> <tr> <td>富山県立高岡工芸高等学校</td> <td>教諭</td> <td>堀井</td> <td>寿朗</td> </tr> </table> <p>(2) 財団関係者</p> <table border="0"> <tr> <td>(一社) 日本自動車販売協会連合会 富山県支部</td> <td>支部長</td> <td>品川</td> <td>祐一郎</td> </tr> <tr> <td>(一社) 日本自動車販売協会連合会 富山県支部</td> <td>専務理事</td> <td>石橋</td> <td>浩明</td> </tr> <tr> <td>(一社) 富山県自動車整備振興会</td> <td>常務理事</td> <td>安達</td> <td>浩治</td> </tr> <tr> <td>(一社) 日本自動車販売協会連合会 富山県支部</td> <td>部長</td> <td>高田</td> <td>義一</td> </tr> <tr> <td>(一社) 日本自動車販売協会連合会 富山県支部</td> <td>係長</td> <td>國永</td> <td>聖子</td> </tr> </table> <p>(3) マスコミ</p> <table border="0"> <tr> <td>北日本放送(株) ビジネス本部 ビジネス局 本社営業アドバイザー</td> <td>新川支社長</td> <td>朴木</td> <td>輝雄</td> </tr> <tr> <td>(株) 北日本新聞社 編集部 社会部</td> <td></td> <td>生田</td> <td>実</td> </tr> <tr> <td>(株) 日刊自動車新聞社 中部支社</td> <td></td> <td>吉田</td> <td>裕信</td> </tr> </table>			富山県立富山工業高等学校	教頭	竹本	宏彰	富山県立富山工業高等学校	教諭	石黒	雄一	富山県立砺波工業高等学校	教諭	荒井	謙三	富山県立魚津工業高等学校	主任	富岡	政裕	富山県立高岡工芸高等学校	教諭	堀井	寿朗	(一社) 日本自動車販売協会連合会 富山県支部	支部長	品川	祐一郎	(一社) 日本自動車販売協会連合会 富山県支部	専務理事	石橋	浩明	(一社) 富山県自動車整備振興会	常務理事	安達	浩治	(一社) 日本自動車販売協会連合会 富山県支部	部長	高田	義一	(一社) 日本自動車販売協会連合会 富山県支部	係長	國永	聖子	北日本放送(株) ビジネス本部 ビジネス局 本社営業アドバイザー	新川支社長	朴木	輝雄	(株) 北日本新聞社 編集部 社会部		生田	実	(株) 日刊自動車新聞社 中部支社		吉田	裕信
富山県立富山工業高等学校	教頭	竹本	宏彰																																																				
富山県立富山工業高等学校	教諭	石黒	雄一																																																				
富山県立砺波工業高等学校	教諭	荒井	謙三																																																				
富山県立魚津工業高等学校	主任	富岡	政裕																																																				
富山県立高岡工芸高等学校	教諭	堀井	寿朗																																																				
(一社) 日本自動車販売協会連合会 富山県支部	支部長	品川	祐一郎																																																				
(一社) 日本自動車販売協会連合会 富山県支部	専務理事	石橋	浩明																																																				
(一社) 富山県自動車整備振興会	常務理事	安達	浩治																																																				
(一社) 日本自動車販売協会連合会 富山県支部	部長	高田	義一																																																				
(一社) 日本自動車販売協会連合会 富山県支部	係長	國永	聖子																																																				
北日本放送(株) ビジネス本部 ビジネス局 本社営業アドバイザー	新川支社長	朴木	輝雄																																																				
(株) 北日本新聞社 編集部 社会部		生田	実																																																				
(株) 日刊自動車新聞社 中部支社		吉田	裕信																																																				

■神奈川県

1. 日時	令和5年10月31日 13:30～15:00		
2. 場所	ホテルプラム		
3. 出席者	<p>(1) 来賓 神奈川県教育委員会 教育局 指導部 高校教育課 指導主事 牧野 貴志</p> <p>(2) 学校関係者 神奈川県立神奈川工業高等学校 教諭 小堤 望史 神奈川県立神奈川工業高等学校 定時制 教諭 金子 太 神奈川県立神奈川総合産業高等学校 校長 樋口 一孝 神奈川県立商工高等学校 教諭 中山 誠 神奈川県立川崎工科高等学校 教諭 石田 拓海 神奈川県立向の岡工業高等学校 校長 居石 博幸 神奈川県立向の岡工業高等学校 科長 松澤 豊明 神奈川県立横須賀工業高等学校 校長 日置 賢司 神奈川県立平塚工科高等学校 教諭 仲 直也 神奈川県立藤沢工科高等学校 教諭 小田 修令 神奈川県立小田原城北高等学校 教諭 齋藤 洋人 神奈川県立小田原城北高等学校 定時制 科長 阿蘇 祐介 横須賀市立横須賀総合高等学校 教諭 加藤 範男 川崎市立川崎総合科学高等学校 教諭 寺島 健太</p> <p>(3) 財団関係者 (一社) 日本自動車販売協会連合会 神奈川県支部 支部長 上野 健彦 (一社) 日本自動車販売協会連合会 神奈川県支部 専務理事 大蔵 幸雄 (一社) 神奈川県自動車整備振興会 専務理事 森下 義幸 (一社) 神奈川県自動車整備振興会 次長 黄木 雅朗 神奈川県軽自動車協会 専務理事 福嶋 正男 (一社) 日本自動車連盟神奈川県支部 次長 根木美香子 (一社) 日本自動車販売協会連合会 神奈川県支部 参与 中澤 延夫 (一社) 日本自動車販売協会連合会 神奈川県支部 部長 久世 真 (一社) 日本自動車販売協会連合会 神奈川県支部 部長 高梨 雄司</p> <p>(4) マスコミ (株) 日刊自動車新聞社関東支社 支局長 藤井 美穂 (株) 交通毎日新聞社 専務取締役 阿部 秀樹 (株) 交通毎日新聞社 部長 久保 俊子</p>		

■福井県

1. 日時	令和5年11月15日 13:00～14:30		
2. 場所	ザ・グランユアーズブクイ		
3. 出席者	<p>(1) 来賓 福井県教育庁 高校教育課 主任 山下 桂司</p> <p>(2) 学校関係者 福井県立科学技術高等学校 校長 藤枝 徹 福井県立科学技術高等学校 教諭 近藤 慎克 福井県立坂井高等学校 教諭 三津谷 智士 福井県立奥越明成高等学校 教諭 村田 直大 福井県立武生商工高等学校 教諭 西澤 宏一 福井県立敦賀工業高等学校 教諭 高須 一郎 福井県立若狭東高等学校 教諭 山口 陽暉</p> <p>(3) 財団関係者 (一社) 日本自動車販売協会連合会 福井県支部 支部長 浮田 啓三 (一社) 日本自動車販売協会連合会 福井県支部 専務理事 安藤 和博 (一社) 福井県自動車整備振興会 専務理事 巢守 雅彦 (一社) 日本自動車販売協会連合会 福井県支部 総務部長 加藤 勇人</p> <p>(4) マスコミ (株) 日刊自動車新聞社 中部支社 春田 茉里</p>		

■石川県

1. 日時	令和5年11月30日 13:00～14:45		
2. 場所	石川日産自動車販売株式会社 本社		
3. 出席者	(1) 来賓 石川県教育委員会学校指導課	課長補佐	寺田 修一
	(2) 学校関係者 石川県立工業高等学校	校長	居村 吉記
	石川県立工業高等学校	教諭	宮本 隆一
	石川県立金沢北稜高等学校	教諭	疋田 充
	金沢市立工業高等学校	教諭	杉野 弘幸
	(3) 財団関係者 (一社)日本自動車販売協会連合会 石川県支部	支部長	小杉 雄二
	(一社)日本自動車販売協会連合会 石川県支部	専務理事	松田 等
	(一社)日本自動車販売協会連合会 石川県支部	理事	泉 正和
	(一社)石川県自動車整備振興会	会長	岡田 喜一
	(一社)石川県自動車整備振興会	専務理事	中村 利朗
	石川日産自動車販売(株)	サービス事業部長	山口 亘
	石川日産自動車販売(株)	店舗支援課長	新田 和穂
	(4) マスコミ (株)日刊自動車新聞社 中部支社		吉田 裕信
	中日新聞社 中部支社		高岡 涼子
	北國新聞社 編集局経済部	副主任	若村 俊

■鳥取県

1. 日時	令和5年12月1日 13:00～14:30		
2. 場所	鳥取トヨタ自動車株式会社 米子東店		
3. 出席者	(1) 来賓 鳥取県教育委員会事務局高等学校課	指導主事	岡本 宏
	(2) 学校関係者 鳥取県立鳥取工業高等学校	教諭	西垣 保孝
	鳥取県立倉吉総合産業高等学校	教諭	赤松 健太
	鳥取県立米子工業高等学校	校長	松川 明義
	鳥取県立米子工業高等学校	教諭	西原 正樹
	(3) 財団関係者 (一社)日本自動車販売協会連合会 鳥取県支部	支部長	米原 良
	(一社)日本自動車販売協会連合会 鳥取県支部	専務理事	俣住 和雄
	(一社)鳥取県自動車整備振興会	専務理事	石原 清隆
	鳥取トヨタ自動車(株)	次長	村松 賢二
	(4) マスコミ 日本海テレビジョン放送(株)		前田 俊博
	(株)新日本海新聞		川口 耕

■ 島根県

1. 日時	令和5年11月8日 13:00～14:30	
2. 場所	ネットトヨタ島根株式会社 本社	
3. 出席者	<p>(1) 来賓 島根県教育庁 教育指導課 地域教育推進室 指導主事 錦織 英宣</p> <p>(2) 学校関係者 島根県立松江工業高等学校 校長 佐々木 雅典 島根県立松江工業高等学校 教諭 藤脇 兼三 島根県立出雲工業高等学校 教諭 鴨山 達郎 島根県立江津工業高等学校 主任 藤原 英樹</p> <p>(3) 財団関係者 (一社)日本自動車販売協会連合会 島根県支部 支部長 野々村 健造 (一社)日本自動車販売協会連合会 島根県支部 専務理事 橋本 実千寿 (一社)島根県自動車整備振興会 専務理事 舟木 誠一 島根トヨタ自動車(株) 課長 栗栖 正直 (一社)日本自動車販売協会連合会 島根県支部 山本 郁子</p>	

■ 岡山県

1. 日時	令和5年12月13日 13:00～14:30	
2. 場所	岡山プラザホテル	
3. 出席者	<p>(1) 来賓 岡山県教育庁 高校教育課 職業指導班 指導主事 田内 道康</p> <p>(2) 学校関係者 岡山県立岡山工業高等学校 校長 文谷 元信 岡山県立岡山工業高等学校 教諭 濱田 浩昭 岡山県立東岡山工業高等学校 教諭 平尾 暢啓 岡山県立備前緑陽高等学校 教諭 大賀 晃典 岡山県立水島工業高等学校 教諭 椎葉 順一 岡山県立津山工業高等学校 教諭 小林 雅雄 岡山県立勝間田高等学校 教諭 宮前 亮 岡山商科大学付属高等学校 科長 蜂谷 和久 おかやま山陽高等学校 教諭 森 秀樹</p> <p>(3) 財団関係者 (一社)日本自動車販売協会連合会 岡山県支部 支部長 梶谷 俊介 (一社)日本自動車販売協会連合会 岡山県支部 専務理事 谷本 博志 (一社)日本自動車販売協会連合会 岡山県支部 係長 峰山 雄一郎 (一社)岡山県自動車整備振興会 専務理事 中村 勝美 岡山県軽自動車協会 会長 吉村 良太郎 岡山県軽自動車協会 専務理事 本村 敬一</p> <p>(4) マスコミ (株)日刊自動車新聞社 関西支社 次長 岸田 正幸</p>	

■広島県

1. 日時	令和5年11月16日 13:30～15:30	
2. 場所	広島日産自動車株式会社 本社	
3. 出席者	<p>(1) 来賓 広島県教育委員会事務局 高校教育指導課 指導主事 後藤 直輝</p> <p>(2) 学校関係者 広島県立広島工業高等学校 校長 神田 浩二 広島市立広島工業高等学校 教諭 山本 貴彦 広島県立呉工業高等学校 定時制 主任 金石 誠 広島県立総合技術高等学校 教諭 藤井 孝行</p> <p>(3) 財団関係者 (一社)日本自動車販売協会連合会 広島県支部 副支部長 前 泰弘 (一社)日本自動車販売協会連合会 広島県支部 専務理事 村上 弘人 (一社)広島県自動車整備振興会 専務理事 村雲 浩司</p> <p>(4) マスコミ (株)日刊自動車新聞社 関西支社 中国総局長 大槻 晃久</p>	

■山口県

1. 日時	令和5年12月4日 13:00～14:30	
2. 場所	かめ福オンラインプレイス	
3. 出席者	<p>(1) 来賓 山口県教育庁 高校教育課 指導主事 森山 龍夫</p> <p>(2) 学校関係者 山口県立柳井商工高等学校 校長 川合 信之 山口県立田布施農工高等学校 教諭 宇佐川 博 山口県立徳山商工高等学校 教諭 木下 賢治 山口県立宇部工業高等学校 校長 松本 理 山口県立宇部工業高等学校 科長 狩山 幸之 山口県立美祢青嶺高等学校 教諭 佐野 広一 宇部鴻城高等学校 教諭 山川 大作 下関国際高等学校 校長 上田 晃久</p> <p>(3) 財団関係者 (一社)日本自動車販売協会連合会 山口県支部 副支部長 小川 秀夫 (一社)日本自動車販売協会連合会 山口県支部 専務理事 藤原 裕宜 (一社)山口県自動車整備振興会 専務理事 原野 康寅 (一社)日本自動車販売協会連合会 山口県支部 総務課長 糸山 紀子 (一社)日本自動車販売協会連合会 山口県支部 主任 住吉健太郎</p> <p>(4) マスコミ (株)日刊自動車新聞社 関西支社 中国総局長 大槻 晃久</p>	

令和5年度事業報告附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条に規定する事項は存在しない。

公益財団法人 日本自動車教育振興財団